

◎惡見 邪見ナリ謂
己是佛ノ見ナリ

◎改悔 南本涅槃十
六云深自改悔生護法

心 大方等陀羅尼經
四初云默然而受禮越

供養而不改悔 毘
尼母論二十三改悔ノ

言アリ式文云遂令改
悔之族 此秘事法

門ノ徒ノ當流ノ正義
ニ歸依シテ昔非ヲ

發露シテ懺悔スル
ヲ改悔ト云ソレヨリ流

傳シテ一家ノ永式ト
ナレカ實悟記ニ云

報恩講 速夜スレハ諸人ヲハラフテ五十人三十人一人ツ、改悔ヲ申上タルト
出ツコトキハ改悔ノ文言定レルコトナシ各々ニ先非ヲ改メ正意ヲエタル領解
ヲノヘタルコト、三ニ出ツ

◎回心懺悔 天台ニ作法取相无生ノ三種ノ懺悔アリ光明
文句三ニ出ツ記三七以下釋アリ礼讚ニ三品ノ懺悔アリ今ハタ、回心懺悔十
リ謗法闡提ノ文ハ法事讚上十五ニ出自信教人信ハ礼讚 十三ニ出ツ

◎諸人ノ耳一有義、如ク勸化ノ非ヲ回心懺悔スルコトナラハ諸人ミナ勸化スルモノ
ニアラス諸人ノ耳ニキカシムルニオヨハス今改悔ヲス、ムルハ僻法門ノ安心ヲ改悔セ
シムルナリコレ往生ノ正因ヲ決定スルハ正義ニヨルヘシカルニ此僻法門ハ諸人ノオ
ホノマトヘルトコロナレハ他ノ改悔ノ縁トモナレハコレヲ聲ニ發シテチノフルナリ

◎回心ノ惡心 ヒカ法門ヲ執シテコレ正義ナリト誤リ来レルナリ

◎善心 當流正意ヲ信スルナリ

◎コレノマコトニ等 所敬ノ祖師ノ尊意ニ約シコレスナキ等能敬門末ノ意ニ約
ス

▲第六通 ①遷化 廣弘明集廿七十三ニ梁劉之遴ノ書云遂至遷化道俗
驚愕 同丁隋薛道衡弔延法師亡書云俗界无常延法師遷化要覽下
ハ云釋氏死謂涅槃圓寂歸真歸寂滅度遷化順世誓一義也隨便稱之

二約教人信
ニカス

カニヒ下々自信教人信ノ義ニ相應

スヘキモノナリシカラハマコトニコロアラン

人々ハコノ回心懺悔ヲキテケニモト

オモヒテオナシク日コロノ惡心ヲピル

カヒテ善心ニナリカハル人モアルヘシ

コレノマコトニ今月聖人御忌ノ本懷

ニアヒカナラヘシコレスナキ報恩謝徳

ノ懇志タルヘキモノナリアナカシク

文明十四年十一月廿一日

釋氏ノ徳アル人ノ亡スルヲ死トイハス遷化ト称スルハ此世ヨリ遷化他世ニ化益スルト云
義ヲトル 念佛勤行ヲコラシハケテ人トハコラシハ疑ノ字ナリ式文ニ草菴月前
凝瑜伽瑜祇之観念 心ヲ念佛ノ一行ニ止ル也ハケテマストハハケムナリノスノ約
ムナリムヲ延シテマ
ト云 称名念佛ノ本行
ヲツクス 又二六時中ノ
称名念佛今古退轉
ナレ 等ノ文ヨリ考ルニ
報恩講參詣ノ道俗
ハ御影前ニ於テ称名
念佛无間ニ修スル古
風ナリト見ユ故ニ報恩
講ノ御文七通ノ中称
名ヲスメタマフコトナシ
コニ報恩講參集ノ
人ハ称名念佛ニナケ

第六通大分爲テ

一嘆祖忌隆盛

抑當月ノ報恩講ハ開山聖人ノ
御遷化ノ正忌トシテ例年ノ舊儀
トス己ヨリテ遠國近國ノ門徒ノ々
クヒヨ時節ニアヒアタリテ參詣ノ
コトサレハ己報謝ノコトヲイタサン
ト欲スシカルアヒタ毎年年七晝夜アヒタニ

二誠門業非義

初約意ニ

初惣誠ヨニ

ヲイテ念佛勤行ヲコラシハケマスコ
スナキ真實信心ノ行者繁昌セシ
ルニナリマコトニモテ念佛得堅固ノ
時節到来トイヒツキモノ致コノニニ
一七ノ日ノアヒタニライテ參詣ヲイタス
トモカラノナカニライテマコトニ入マ子分リ
ニ御影前へ出仕ヲイタスヤカラ己アヘシ

レハ別ニ之ヲ勸ルニ不及
ナリ今時真宗ハ信心
爲本ニシテ称名ヲツト
ムルモノヲ却テ自カノ
行者ナリト云ヒタ、随意
ニトナヘテツトメテ称ル
ニアラスト思フモノア
リ子テモサメテモトナ
フヘシノ念佛宗ノ本
義ヲワスレタルモノ也ヨ
テ今ノ念佛勤行トノ
タマフハタ、勤行聲明
ノ念佛ノコトニ非ルヘ
シ報恩講ノ御文ノ趣々ノ御言ヨリ推スルニ道俗ニナ御影前ニ於テ念佛ス
ルコレ古今ニワタリテ形式ナリト見ユ 念佛堅固 安樂集上ニニ大集經五
ノ五百年ヲトク文中第四五百年造立塔寺修福懺悔得堅固乃至計今

時衆生即當佛去世後第四五百年正是懺悔修福應稱佛号者(堅固ハ佛法堅固ニ住スルヲ云學定ニヨテ佛法堅固ナリ學慧ニヨテ佛法堅固ニ住シ乃至法ノ權實ヲ争フ鬪諍ニヨテ佛法カ住スルト云コト也誤テ僧徒ノ喧嘩口論盛ナルト云ヘカラス戒定等ハ能堅固ノ法ナリ佛法ハ所堅固ノ法ナリ)安樂集ニ懺悔修福ヲ念佛ノコトナリト釋シタテ懺悔修福ノ言經文ニナシ樂主ノ加フルトコロ也コレ第四五百年ヲ念佛得堅固ノ時トシタマフ蓮師ノ時代ハ第五五百年ノ末ナリ白法隱滯多有詩訟微有善法ト云時ナリ何ノ第四五百年ト同ク念佛得堅固ノ時ト云ヤ謂第五五百年ノ微有善法トハ念佛ナリ聖道八万ノ多ニ對シテ微ト云聖道八万ノ法ハ廢シテタ、念佛ノミアリ故ニ念佛得堅固ノ時ナルコトシルヘシ要決ニ未法万年餘教悉滅現陀一教利物偏增現今目擊スルトコロナリ

二別誠ニ

一示正意ニ

一名号即信
ソレ南无

カノ仁躰ニライテハヤク御影前ニモサ
ツツ井テ迴心懺悔ノコロヲヲコレ本
願ノ正意ニ歸入シテ一念發起ノ
眞實信心ヲマウクヘキモノナリツ
南无阿弥陀佛トイフススナハチコ
念佛行者ノ安心ノ躰ナリトオモフヘシ
ソレニハ南无トイフハ歸命ナリ即是

歸命トイフハワレヲトキノ无善造惡
凡夫ノウヘニライテ阿弥陀佛ヲ
タラシマテマツルコロナリトシルヘシ
ソノタムコロトイフハ即是阿弥陀
佛衆生ヲ八万四千ノ大光明ノチカニ
攝取シテ往還ニ種ノ迴向ヲ衆生
ニアタヘシテスコロナリサレハ信心ト

仁躰 中庸云仁者人也仁人ト同音通用スルコト尚シ
迴心懺悔 人マ子名聞ニ出仕シテ衆中トシテサタメオカレタル掟ニソムキタルコトヲ懺悔スル也
マウクヘキ 儲ノ字信心ヲタクハヘル也

◎ソノ南无阿弥陀佛ト云ハ等 安心ノ体トハ体相ニシテスカタナリ名号ノスカタ
 即信心ノスカタナリ ◎ 即是歸命ト云ハ言南无者即是歸命ノ大ヲ引スシテ
 直ニ即今歸命ト牒スルハ歡喜抄ニ會シテ云安樂集下 八六經ノ横截五
 惡趣ノ文ヲ引ニ惡趣
 自然閑等ノ二句ノ文
 下テヲ釋シ玉フ今モ
 此例ナリ今ハ蓮師
 常ニ引用シテ信相ヲ
 釋シタマフカ故ニ別ニ
 文ヲ引ス而モ引用ス
 ルコト也凡夫ノ上ニ
 於テ十劫安心ノ佛体
 ノ上ニ於テ談スルコト
 ラフ今時ノ俗輩タノ
 ム機マテニ名号ノ中ニ
 成就シタマフカ故ニ行

- 二簡非
- 二約相續ニ
- 一惣誠

イフモ別ノコロニアラスミナ南无
 阿弥陀佛ノウチニコモリタルモノナリ
 チカコロハ人ノ別ノコトノヤウニオモヘリ
 コニツノテ諸國ニツイテ當流門人
 ノチカニオホク祖師ノサタメヲカル、
 トコロノ聖教ノ所判ニチキクセ法門ヲ
 沙汰シテ法義ヲミタス条モテノ

者自カラモテタムニ及
 ハスタノ名号ノ由レヲキ、
 ミラ多ハカリニテ助ルト云
 類アリ今ノ凡夫ノ上ニ於
 テタムク言ニ相違シ仍
 十劫安心ノ類ナリ今謂
 南无ノ機ヲ名号ノ上ニ
 成就シタマフカ故ニタム
 メハタスカル也若南无ノ
 機ヲ成就セサル名号ヲ
 ナレハ諸佛ノ名号ノ如ク
 タンシテモ助カラスコレタ
 ノムモノヲ助ント云本願
 成就シタマフ弥陀ナルカ故果号ノ六字自ラ機法一体ノ義アリコトタムコロ
 凡夫自カノ思想ヨリオコスニアラス如来ノ願心ヨリオコル ◎ ソノタムコロト云ハ等
 行者歸命ノ信心ハ如来ノ發願回向九カニニ即阿弥陀佛ノ攝取ノイハレトナル

- 二別立善誠ニ
- 一正立條ニ
- 一約僧侶

ホカノ次第ナリ所詮カクノコトキ
 ヤカラニツイテハアヒカマヘテコノ
 一七ヶ日報恩講ノウチニアリテ
 ソノアヤマリヲヒルカヘシテ正義ニ
 モトツクヘキモノナリ
 佛法ヲ棟梁シカタクコトク坊主分
 ヲモチタラシムノ身トシテイサカ

發願回向ニ意アルコト下ノ第十四通ニ至テ可云今三帖第六通ニ南无ノ二字ヲ歸命ト發願回向トノ二意ナリトクマウ意ニテ可解

モノヲ助ケタマフト決定スルナリ行者ノ信心ノスカタ全ク名号ノイハレト同シコト他カ信心トイハル所以ナリ

①クセ法門 三帖第一通ノ如シテ劫安心等ヲサス

②チカコ只人ノ等 餘通ニモコ簡アリ鎮西等安心ヲ三心トシ名字ヲ行トシテ安心ノ体名号ナリトイハス

コノ餘流ノ義ノ混セル異解ナリカノ十劫安心ノ如キ全ク名号ノ由ニアツカラス可知

③佛法ヲ棟梁ニ廣弘明集二十七ノ梁劉之遊書ニ舟航愚冥棟梁寺塔類書纂要六

云棟梁一室之中以棟梁為主同十云棟梁之材稱以之中抱大才當作大用一屋ノ主トシテウコカサル棟梁ノカナリ坊主分ニ棟梁ノ才アリト云ニアラス棟梁ノ任アルナリ

④京都本願寺 帖外明應五年十二月ニ押當所山科ノ村ニイカナル宿縁アリテカ不思議ニ去ヌル文明十年ノ春ノヨリ此在所ニ於テ一字ノ坊舎ヲ建立セシメテ

二約在家ニ

一自守用心

モ相承モセサルシラヌエセ法門ヲモテ

人ニカタリウ物シリトオモヒンタメニ

トテ近代在々所々ニ繁昌スト云々

言語道断ノ次第ナリ

京都本願寺御影へ參詣マウス

身ナリトイヒテイカナル人ノ中トモイハス

大道大路ニテモマ關渡ノ船中ニテ

モハカラス佛法カタノコトヲ人ニ顯露

ニカタルコトオホキナルアヤミナリ

一人アリテイク我身ハイカナル佛法

ヲ信ス人ソトアヒタツスルコトアリトモ

シカト當流ノ念佛者ナリトコタフ

ヘカラスタ、ナニ宗トモナキ念佛ハカ

ハタフトキコト、存シタルハカリナルモノ

冠注 御文 卷之四 三十三 言法創補

當年明應五年迄己二十九年ソカレ今章モ文明十五年十月ノ作ナレハ山科
 本願寺ト云ヘシ京都ノ本願寺ハ文明三年ニ退去セリ謂大谷ノ本願寺本京都
 ニ在リ舊ニ從ヘテ今モ京都ト稱ス勢州一身田ニアル專修寺ヲ高田專修寺
 ト呼コトレ此例多シ或

可山科ハ京都ニ隣近セ
 ルカユヘニ勝ニ從ヘテ京
 都ト云カニ義ノ中前義
 穩ナリ

③ 大道大路 音訓ナラ
 へ舉ルハ文ノアヤナリ或ハ
 大道ハ往還ノ大道大路
 ハ浴中ノ阡陌ナリ

④ 關 逢阪鈴鹿等
 又乱世ノ時ハ處々ニ関
 門ヲ設ク往來ノ旅人
 ヲ調ルトコロナルカ故ニ

人多集ル渡多人ヲマ
 チ合セテワダスカニニ人ノ
 集ルトコロナリ

⑤ 念佛ハカリ等諸宗
 トモニ念佛ヲ用ルカニ
 ニ念佛分リトイヘハ妨
 ナシ若真宗ノ行者ト云
 ヘハ一向專修ノ義ヲア
 ヤシニ誹謗論ヲ起シ
 コトヲ慮リタマフ也

⑥ 兩三年ノアヒタ文
 明十三年比己來ヲサス
 ソノサタメオク條目トハ

神明三ヶ條六ヶ條帖外十一條ハ吉崎ニテノ作ナリ山科ニテノ條目未詳
 ⑦ 衆中トシテ 一ニ衆中協議シテ定ル條目ナリ一ニ云衆中ノ守ルヘキ件ヲ達
 師コレヲ條目トシタマフカニ義中恐ラハ後義ナラン

二指前年條
 目結誠ニ
 ナリ

ナリトコタフヘシ己スナチ當流聖人ノ
 フレヘマシマストヨノ佛法者トミエサル
 人ノスカタナルヘシサレハコシラフモキヲ
 ヨクク存知シテ外相ニシノイロヲミセ
 サルヲモテ當流ノ正義トオモフヘキ
 モノナリ己ニツイテコノ兩三年ノアヒタ
 報恩講中ニツイテ衆中トシテサタメ

ヲクトヨク義ヒトツトシテ違變アル
 ヘカラスヨ衆中ニツイテ万一相違
 セシムル子細コシアラハナカキ世間山
 聖人ノ御門徒タルヘカラサルモナリ
 アナカシコノ
 文明十五年十一月日

▲第七通 舊義 義儀通用ス五帖ノ中ヲ例多シ
 ○稱名念佛ノ本行 往生之業念佛為本コト選擇本願ノ行九カニ本行ト云
 餘ノ礼誦等ハ非本願ノ行ナルカ故ニ本行トイハス

●專修專念等 化
 身土卷ノ是專念正業
 之德也 是決定往生之
 我也ノ祖語ヲ用ヒタラ
 專修證文云云專
 修ハ本願ノミナラニ心
 ナクモハラ修スルナリ又
 云專念ト云ハ一向專修
 ナリ一向ハ餘ノ善ニウツ
 ラス餘ヲ佛ヲ念セス
 報恩ノ多ニ足手ヲハ
 コヒ懇志ヲツクスコレ
 信徳ナリト嘆スル也

第七通大分爲テ
 一嘆祖徳廣遠
 二教門業不信
 一慈悲不信
 一不信相マヘ

抑今月報恩講ノ事例年ノ舊
 義トシテ七日ノ勤行ヲイタストヨロイニ
 ノ退轉ナレシカルアヒタコノ時節ニ
 アヒアタリテ諸國門業ノタラヒ報恩
 謝徳ノ懇志ヲハコヒ稱名念佛ノ
 本行ヲツクスマコトニコト專修專念
 決定往生ノ徳ナリコトニ諸國參詣

●コノユヘニ トハ承上起
 下ノ言ナレトモ今ハ上下
 ノ文勢ニ合セス雪窓
 ハコレ在家愚人ニアタ
 フル書ナレハ強ニ綴文ノ
 次第ヲモラサレナリ
 ト龜陵師云上ハ報恩
 講參詣ヲ喜ヒテ專修
 專念決定往生徳ナ
 リトホメ若カクノコトク
 ナラスハ專修專念決
 定ニアラストニ付テ
 諸國參詣ノ人一味ノ
 安心ニ住スル入希ナリト未決定ノ機ヲスマメタマフ文勢ナレハコト故ニ言下ノ文
 言ニカケテミルヘシマ義ニシテモコトニテ言合シカタシ雪窓ノ説懇ナラ
 ンカ 一味ノ安心 他カノ信心トイハシカ定散諸機各別ノ自力ノ信心ヲエラ

一正示ソシ
 二悲愍留テ

トモカラニライテ一味ノ安心ニ住スル
 コトニシテミエタリソコニハ真實ニ
 佛法ニコトサレハナクシテ冬人マ子
 ハカリアル仁義マテノ風情ナラハ
 マコトニモテナケカシキ次第ナリソ
 イハシイカントイフニ未安心トモカラハ
 不審ノ次第ヲモ沙汰セサルトキハ

①一向无沙汰ワカ信
心ノスカタヲ人ニカタリ
談合スルコト一向ニナシコ
信ノナキナリ

②腹立怒ル也一帖
初通ニ信心ノ沙汰スル
在所ヘキテ聴聞シ候
人ヲハ説諫ヲ加ヒ説諫
ヲ加フル即腹立ナリ又
坊主ノ信心不足ノヨシ
ヲ申セハ以ノ外腹立セ
シムルヨシコハ坊主ヲ
門下カ説諫スルナリ
門下カ坊主ノ信心不
足ノヨシヲ説諫スレハ
カヘリテハラタチテ中ア

シクナル等ノコトヲ云
③勿体物体ヲ勿スル
ナリ即輕忽ニスルヲ
云

二誠門徒
初外相
初自守

二對他

ナリ
田舎ヨリ參詣ノ面々ノ身上ニライ
テコロウヘキ旨アリソコニハ他人
中トモイハスマタ大道路次テトニ
テモ關屋船中ヲモハカラス佛法方
ノ讚嘆ヲスルコト勿躰ナキ次第ナリ
カタク停止スヘキナリ
當流ノ念佛者ヲ凡ハ人アリテ
ナニ宗ソトアヒタツ又ルコトトヒアリ

トモシカト當宗念佛者トコタフヘ
カラスタ、ナニ宗トモナキ念佛者ナリ
トコタフヘシ己スナハキ我聖人ノオホ
ヲカル、トコロノ佛法者氣色ミエヌル
マヒナルヘシヨヲモムキヲヨクク存知
シテ外相ニソノイロヲハタラクヘカラス
マコトニ己當流ノ念佛者ノルムビノ
正義タルヘキモノナリ
佛法ノ由來ヲ障子カキコシニ聽聞

二内心
一誠往聽聞

二内心
一誠往聽聞

法苑珠林 卷之四 三十九 諸法鏡

○サソトシカノ約サ
シカリサフジヤト會解
スルナリ出要ノ大事タ
ル信心障子越ニ聞テ
以テ足レリトシ信心ワ
レステニエタリトスヘケ
ンヤタ、シ一度聞テ真
心徹到スルヒトモアルヘ
シ今ツレヲ遮スルニア
ラス夏ノ御文ニ何タル
コトノ尊キトモ又不審
ナルトモ仰セラレ候人
數モ御入候ハスコレ一
往聽聞ノスカタナリ
○一往未及理尤ラ
一往ト云々、障子垣

コレニキ、テタシカニ會
得セサルナリコレ信決
定ノ人ニタツ子談合セ
サルヲ云
○一往ノ儀 御教化ニ
一往再往ノ義アルニアラ
スワカ聽聞スル上ヨ誤
リナキヤト談合セサル
ヲ云再往談合ニ對シ
テ一往ト云所望別ナリ
アルニ二類ノ邪徒アリ
テ御文ノ御教化ヲ一
往ノ義トシ別ニ深祕ノ
口傳ノ法門アリコレヲ
无宿善ノ機ニ對シテ當流眞實ノ義ヲカタルヘカラスト制シテ冬フト處々ノ御言ヲ
曲解シテ自ノ邪義ヲツルモ、當今尚ヤマス可悲可恐哉

ニ勸再往聽聞
一信心ヲエタルヲリヲハイクモク
人ニタツ子テ他カノ安心ヲハ治定
スヘシ一往聽聞シテハカナラス
當時サカンナリト云ク
アヤマリナルヘシチカヨコシヲノ子細
シツノマ、我心ニカセカナラスノ
アヒタツ子テ信心ノカタヲハ治定スヘ
トモカサ子テ人ニツノヲモキヲヨク
シテ内心ニサソトタトヒ領解ストイフ

ニ結誠
アヤマリアルヘキナリ
右此六ヶ條ノヲモキヨク存知
スヘキモノナリ近年佛法人ミナ
聽聞ストハイトモ一往ノ儀ヲキ、テ
眞實ニ信心決定ノ人已ナキアヒタ
安心モウトクシキカエヘナリ
アナカシコク
文明十六年十一月廿日

冠住御大 卷之四 法華經疏

▲第八通 昔年ヨリ

ノ流例 如信師以來

流傳ノ例修ナリ

◎二六時中 勤行晨

朝日中 逮夜初夜ノ

四度ナリ 逮夜ニ日没

ヲカ子初夜ニ中夜後

夜ヲカ又タシ今ハ勤行

聲明ノ念佛ニハ非ス

參詣ノ道俗御影前

ニ於テ晝夜ヲ分ス念

佛スルナリ上ノ三ヶ条ト

併考ヘシニ六時中晝

夜トイハシカ如シ

●一天四海 天ハ能覆

ニシテ一ナリ四海ハ所

覆ニシテ四邊アリ一洲

ノ四邊皆大海ナリ四海

トハ四海内ナリ海外ヲ

云ニアラス今ハ日本全國

ヲサススヘテ内外典ニ四

海ト云皆海内ヲサス

●門葉 門末ハ本寺ニ

對ス門葉ハ門末ノ數

多キヲ云本山ノ稱号ハ

御一代記遺德記實

悟記及古裏等ニミエ

ス●不法不信 不佛

法不信心ナリ佛法ヲ

心ニカケス信心未決定

ヲ云●信心獲得至

報恩多シ正法念經

第八通大分爲二

一 曩宗祖高德ニ

二 正嘆ニ

一 標祖忌 抑今

二 門葉懇志 己ニヨリ

三 歸祖德 己ニ今

二 勸信ニ

一 直勸ヨミニ

抑今月廿日ノ報恩講 昔年ヨリノ

流例ナリ己ニヨリテ近國遠國ノ

門葉報恩謝德ノ懇志ヲハコフ

トヨナリニ六時中ノ稱名念佛今古

退轉ナレコトナキ開山聖人法流

一天四海ノ勸化比類ナキカイタス

トヨナリコトニ六七晝夜ノ時節ニ

アヒアタリ不法不信ノ根機ニライテ

ハ往生淨土ノ信心獲得セシムヘキモノ

ナリ己シカシナカラ今月聖人ノ

御正恩ノ報恩タルヘシシカラサラン

トモカラキタイテハ報恩謝德ノ

コトサシナキニタルモノ欲己ヨリテ

ヲヨコ真宗ノ念佛者ト号スルナカニ

マコトニ心底ヨリ當流ノ定意決定ナ

キアヒタアルヒハ名聞アルヒヒトナミニ

報謝ヲイタスヨシノ風情ヨリアリ

モテノホカシカルヘカラサル次第ナリ

冠注 御大 卷之四 三十一 諸法儀軌

六十一云惟有一法能報佛恩若于佛法得不壞心是名報恩

口惜次第 源語第

本ナトニ出ル語ニテロニイヒシカ空クナレルヲ口惜ト云コレヨリ轉シテスヘテナシタルコトノ功ナキヲオシムナリ

スコフル 過半ナリ莫太ノ辛勞ヲナシナカラソノ功ヲナスニタラサルナリ

所存 漢書楊雄傳下云志意所存意ニタラハ存スルヲ云

无宿善ノ機ニ等

論六十一云諸佛菩薩功德力能度一切衆生但以衆生無和合因故譬如大火常有燒力以薪不近故不得燒近則能燒

无ニ懺悔表裏

ナキヲ无ニト云真心徹到シテ昔非ヲ改ル也即名聞人並ニ參諸ノコトヲ改ルヲ云

一心ノ正念ニ河喻

二一心正念直來累本二一心即是深心正念即是称名今ハ一心ヲ正

正數

二勸信タシ

二列條目制

初誠門徒

初禁漫語正義

二禁語非義

ソノユハステニ万里ノ遠路ヲシキハクタイシシラウ莫太ノ辛勞ヲイタシテ上洛ノ

トモカライタツラニ名聞ヒトナミノ心中ニ住スルコト口惜次第ニアラサヤ

スヨル不足ノ所存トイヒツヘシタシ无宿善ノ機ニイタリチハチカラヲス

シカリトイヘトモ无ニ懺悔ヲイタシ一心ノ正念ニオモカハイカテカ聖人ノ御本意ニ達セサラシモツラヤ

諸國參詣ノトモカラノナカニライテ在所ヲキラスイカナル大道大路又關屋渡ノ船中ニテモサラニツノ

ハカリナク佛法方次第ヲ顯露ハカニカタルコトシカルヘカラサル事

一在々所々ニライテ當流ニサラニ沙汰セサルメツラシキ法門ヲ讚嘆シオナ

シ宗義ニナキオモシロキ名目ナントヲツカフ人己オホシモテノホカノ

念トシテ信ニ約ス讀ニ
 真宗念佛キモ、モウ、一
 念无疑ナルヲコソ正念ヲ
 ウトハサタメタレノ意未
 燈抄ニ正念ト云ハ本願
 弘誓ノ信樂定マルヲ
 云ナリ」一心ノ言ハ无ニ
 對ス正念ハ昔非ニ對ス
 即名聞人並ノ心ヲ改ル
 ナリ

⑦ オモムク 八面向ナリ
 意ヲ改メテ本願ニ向
 フナリ

⑧ 一諸國參詣等初
 二條ハ讚嘆ニツキ第
 三第四ノ二條ハ信心ヲ

スム以上ノ四條ハ別シテ
 門徒ヲ教誡ス第五
 第六ノ二條ハ別シテ坊
 主分ヲ誡△第七第八
 ノ二條ハ坊主門徒ニ正
 意ノ安心ヲオシユルナリ
 故ニ八ヶ條四双八重ト
 ナル可知

⑨ メツラニキ法門十劫
 安心知識タニミ等ヲサ
 ス

⑩ オモシロキ名目 一帖
 十三通ニ不思議ノ名言
 フツカヒテ「改邪抄末」
 云世出世ノ二法ニツイテ
 得分セヨトイフ名目ヲ

二勸獲信ニ

一正勸

二勸護合

僻案ナリ自今已後カタク停止
 スヘキモノナリ
 一コノ七ヶ日報恩講中ニライテ一人
 モノヲラス信心未定ノトモカラハ心中
 フハカラス改悔懺悔心ヲヲモシテ
 眞實信心ヲ獲得スヘキモノナリ
 一モトヨリ我安心ノヲモキイテ決定
 セシ允分モナキアヒタツノ不審ヲ
 イタスヘキトコロニ心中ニツミテアリ

三誠信

一誠不僣

ノニニカダラサルタ多ヒアルヘシユラ
 世アヒタツヌルトヨロニアリノニ
 心中ヲカダラスシテ當場ヲイヒ
 スケントスル入ノミナリ勿躰ナキ次第
 ナリ心中ヲノコサスカ各テ眞實
 信心ニモトツクヘキモノナリ
 一近年佛法ノ棟梁允坊主達我
 信心ハキマテ不足ニテ結句門徒
 同朋ハ信心ハ決定スルアヒタ坊主ノ

行住坐臥ニツカフコロ
エカタキ事ノ如シ今
コレヲサスト云ニアラス
今ノサシタマフトコロ未
詳

◎勿体ナキ次第ナリ

心中未タハレサル不審
ヲ發露セスオレ巳ニ
信決定セル如ク云ハ冥
慮ヲオソレサルナリコレ
佛祖ヲ勿スルナリ

◎キハメテ不足ニテキ

ハメテトハ至極ノ義ニア
ラス蓮師推量スルニ
タカハヌヲ云不足トハ
未決定ニシテ未タ決

定ノ位ニ至ラサルナリ

◎重坏 陶器不焼曰

杯今坏ニ作ル土器ノ盃
ナレハ杯ノ字ニテモ通ス

◎酒 サゲト訓スルハ

憂ヲサクル義ナリイハ
ユル忘憂ノ名アル所以
ナリ万葉集ニクニト云
或ハエケレコトナクニト

云フクシハ奇麗ナリクシ
ノ約キナレハニキト云ミ

ハタ、辞ニテ「ミヤミ」
ミヤミ「ミヨシ野」ナト「ミ

ノ如シヨク人ヲヨハシムル
モノナルカユハニ奇ト云フ

孟子離婁下云禹惡旨

二誠重坏

信心不足ノヨシヲマウセハモテノホカ
腹立セシムル条言語道断ノ次第
ナリ已後ニライテハ師弟トモニ味
ノ安心ニ住スヘキ事

坊主分人チカコ只コトホカ重坏

ノヨシソノキニアリ言語道断シカ
ヘカラサル次第ナリアナカチニ酒ヲム

人ヲ停止セヨトイフニアラス佛法ニ

ツケ門徒ニツケ重坏ナレハカナラス

ヤノモスハ醉狂ノミ出来セシムル

アヒタシカルヘカラスサアラントキハ

坊主分人停止セテモマコトニ

興隆佛法トモイヒツヘキ故シカラス

ハニ蓋ニテモシカルヘキ故シモ佛法

ニコロサシノウスキニヨリテノコトナレハ

己ヲトミラサルモ道理カフカク

思案アルヘキモノナリ

信心決定ノヒトモ細々ニ同行ニ會

一勸談合

一勸談合

酒而好善言 趙註云儀狄作酒禹飲甘之遂疎儀狄而絕昔酒又文選二十七云何以消憂唯 有杜康 儀狄禹王下 同世人ナリ杜康黃帝ノ時ノ人ナリ或ハ周ノ世ノ人ナリト云蓋儀狄始テ造リ杜康之ヲ潤色スト異説アリ吾邦ハ素盞烏命ハ醜ハ麴ノ酒ヲ釀サシメタマフコト又應神ノ朝百濟ノ仁番來リ酒ヲ造ルコト古事記ニ出ツ飲酒ノ失ヲトクコト正法念經三十二

云飲酒之為患有三十有失天論十三世三十三五過ヲトク義章七等ニ飲酒三十五失義アリ佛經ニ在木ト名ケ世典ニ在藥ト敗セリ 興隆佛法 未曾有 因緣經下云愚者无智不能興隆正法 坊主分ハ等興隆佛法ノ任アル坊主分ナレハ 停止スヘシ在家ハツノ任ナケレハ誠ルニ及ハスト イヘトモ念佛ノ行者豈飲酒ヲ放ニシテ可ナラシヤ

一 示正意ニ

一 標

二 釋ニ

一 引文スニ

二 釋三

一 解文南ト

合ノトキハアヒタカヒニ信心ノ沙汰 アラハ己スナハチ真宗繁昌ノ 根元ナリ

一 當流ノ信心決定ストイフ 躰ハスナ

ハチ南无阿弥陀佛ノ六字ノスカタ

トモロウヘキナリステニ善導釋シ

テイハク言南无者即是歸命亦是

發願迴向之義言阿弥陀佛者即

是其行トイフ 南无ト衆生ガ弥陀

歸命スハ阿弥陀佛ノソノ衆生ヲ

ヨシロシメシテ万善万行恒沙ノ

功德ヲサツケタマフナリコノコノ口

スナハチ阿弥陀佛即是其行トイフ

コノナリコノニ南无上歸命ス機ト

阿弥陀佛ノタスケシメス法トカニ 躰

尤トヨクサシテ機法一躰ノ南无

阿弥陀佛トハウスナリカルカユヘニ

阿弥陀佛ノムカシ法藏比丘ナリシ

二 合機法ニ

一 正合ニ

二 迷所由

九カニ

④細々數々トイハシカ如シニ帖初通ニ委ク解シ竟レリ

⑤決定ストイフ体ハ体ハ体相ニシテスカタナリ

六字ノスカタ即信心ノスカタニシテ別相アルニ

非ス体ノ言体性ニアラス体相ナリ真興唯

識章私記ニ体相相狀ト云言往々見エ

⑥南无ト衆生カ弥陀ニ歸命スレハトハ即是

歸命ナリ「万善万行恒沙ノ功德ヲサツクルハ發願回向ノ意ナリ

万善万行ハ所回向ノ物体ナリ故ニ阿弥陀佛即是其行ナリコレ所回ノ行ヲ能回ト大悲ニ攝シテ發願回向ト云ソノ万善万行即南无阿弥陀佛ナリ上ニ南无阿弥陀佛トイヘル名号ハ万善万行ノ惣体ナレハイヨク多モシキナリ故ニ即是其行ノ凡夫往生ノ行名南无阿弥陀佛ヲ發願回向トサツケ玉フ此行ヲウクルカ即是歸命ト一念ナリ故ニ行ノ六字ハ信テウクルカ故ニ聞

⑦トキ衆生佛ニナラスハワシモ正覺ナラシトチカヒマシマストキソノ正覺ステニ成シタマヒレスカタコソイマナモフアミタフチ南无阿弥陀佛ナリトコロウヘシコトスナハチワラカ往生ノサタリ丸證據ナリ。サレハ他カノ信心獲得ストイフモタコノ六字ノコロナリト落居スヘキモノナリソモクコノハテ條ノヲモムキカクノコトレシカルアヒタ

三結 サレ
三結ニ
初結上ソモク
二重勸信ニ
一約他ニ
一舉既往ニ

⑧當寺建立ハステニ九年ニヲヨヘリ毎年ノ報恩講中ニライテ面々各々ニ隨分信心決定ヨシ領納アリトイヘモ昨日今日マテモノノ信心ノヲモムキ不同ナルアヒタ所詮ナキモノカニカリトイヘトモ當年ノ報恩講中ニカキリテ不信心ノトモカラ今月報恩講ノウチニ早速ニ眞實信心ヲ獲得ナクハ年々ヲ經トイフトモ

二誠今後
方リトモ

⑨

云何ソ行者一称スルト
コロニテウルトイフヘケ
ンヤ行者ノ一称ハ已
得ノ後ナリト云ヘシ

二約自

●衆生佛ニテラスハト

南无トタム衆生佛ニ
ナラスハナリ如此タム
衆生ヲ助ケスハ弥陀モ
正覺トラシトチカヒタ
コフ本願成就シタヒシ
ユヘ南无阿弥陀佛ト
云果号ヲトナヘタマフ
ナリコレ上ノ機法一体
ノ義ヲ成スルナリ今ト
對因位昔

同篇タルヘキヤウニミエタリシカ
アヒタ思老カ年齢ステニ七旬ニ
アマリテ來年ノ報恩講ヲモ期シ
カタキ身ナルアヒタ各々ニ眞實ニ
決定信ヲエシメン人アラハハ聖人
今月ノ報謝ノタメハ思老カコノ
七八ヶ年ノアヒタ本懐トモオモヒ
シハルヘキモノナリアナカシク
文明十七年十一月廿三日

●コレスナハチワレラカ寺

御一代聞書云凡夫往生タタム一念ニ佛ニナ
ナヌコトアラハイカナル御誓言ヲモ仰セラルヘキ證據ハ南无阿弥陀佛ナリ
十方諸佛ノ證人ニテ候コレトハ六字ノ名号ヲサススナハチトハワレラカ往生ヲサス
●サレハ他カノ寺 コレ六字ノ由レ外ニ信心ノ相アリト云佛法門ヲエラフ意アリ

●當寺建立

山科御本坊ヲ本願寺ト称シ今當寺ト呼タマフコレ文明十年
正月二十九日六十四歳ニシテ出口ヲ出山科ニウツリ時宜ヲ試ミルヘシトマツ小
屋ヲタテソノ年八近松ノ御坊ニテ越年シ翌文明十一年三月ヨリ御影堂工事ヲ
企テ同十二年二月上旬ヨリ營作ヲハシメ全八月造畢ノ式アリ十一月十八日夜

大津ニ在ス御真影ヲ迎タマフト云コト遺徳記 帖外又全同シ本堂造營
ハ帖外ニ文明十三年二月四日工事ヲ始メテ四月廿八日上棟六月廿日假佛壇コシ
ラヘ本尊ヲスエ奉ルトアリ遺徳記ニ文明十四年春ヨリ工事ヲ起シ六月下旬ニ
成就ストアリテ年時相違ス今章ハ文明十七年ノ作ナレハ山科ニウツリタマフ文
明十年ヨリ八八年目ナリ今九ヶ年トナマフハ文明九年ノ冬金森ノ善從出
ロニイテ、山科ニ貴坊ヲタツヘキ勝地アリト申上ルコト町重ナリケレハ文明十
年ノ春上洛シタマフナリ此善從啓述ノ年ヨリカッヘテ九ヶ年トナマフカ山科御
在任ハ文明十年ナルニ下ニ七八ヶ年ノ間トナマフ ●シカリトイヘトモ等 歡喜

抄ニ自下四行餘ノ辞キコエカクシカリトイヘトモト云テ後ニ同篇タルヘキヤウニ
ミエタリトノタマフ文言通調セスト記事珠ニ云ク上ニ信心趣不同所詮ナキモ
ノカト歎息シサリナカラ今年ノ報恩講中ニトリツメテ信心ヲ獲得ナクハイ
ツマチモ同篇タルヘキヤウニミユルト切ニスメタマフ文言キコエニクキコトナシ

⑦七旬ニアマリテ 文明十七年ハ上人七十一歳ナリ ⑧七八年 今章文明
十七年ノ御作ナレハ上人河内出口ライテ、城州山科ニウツリタマフハ文明十年
ナリ文明十一年ニ山科ニ本願寺起立ヲ企テタマヒ全十二年ニ御影堂成就
シタマフ故ニ山科御移轉ハ宗義實ニオコリテ信心決定ノ人ノオホカラシ
コトヲ欲シタマフ故ニ近ク山科御移住ノ始ヨリヲサシテ七八年トノ玉フ
上ニ九十年ニ及ヘリトアル下ノ解併考スヘシ

▲第九通 歡喜抄ニ天正八年ノ記ヲ引テ云明應元年壬子ノ夏疫癘サカニ
オコリテ人多ク死スルコトアリシニコレハ人々ニウツリテ病死スルト人々申シ侍リ
ケルニ先師上人ノ仰ニタ、因果ニヨテ病死スルトソト仰アリテ當坐ニツノマ
ハリヲ御文ニツクラセタマヒテ法敬坊ニ下サレ候但御文ノ日附ニ延徳四年ト
アリコノ年改元シテ明應元年ナリ明燈抄云現刻ノ實悟記ハワカニ二十
六條アリソノ餘ハ脱セリ惜カナ所引ノ記モ亦脱之世ニ違如上人御物語

ト云一卷アリコレ天正八年ノ記ナリ奥書ニ天正八年九月實悟八十九歳トアリ此記
ニ歡喜抄所引ノ文アリ明燈抄ノ考未詳 ①疫癘 説文ニ民皆疾也周礼
註曰疫癘鬼也癘玉篇疫氣也 釋名云疫疾癘役也言有鬼行疫也
又曰癘疫氣也中人
如磨礪傷物也 醫
家ハ運行ノ邪氣ヲ
受テ傷寒時疾ヲ致
スト云儒家ハ疫鬼
アリテ行フト云佛經ニ
モ疫鬼アリト云コト
安樂集下ニ請觀
世音消伏毒害陀羅
尼經ヲ引テ毘舍離
國ノ五種ノ惡病疫氣
アリテ行フト出ツコ
疫ニヨテ死スルハ生下

第九通大分ニ
一就時疫示无常

當時^{タカシ}ヨロコトノホカニ疫癘トテ^{エキレイ}
ヒト死去ス^{レキヨ}コサラニ疫癘ニヨリテ^{キレイ}
ハシメテ死ス^レルニアラス生^{タマ}ハシメシヨリ^{モウコフ}
シテサタニル定業ナリサノミラカク
オトロクマシキコトナリシカトモイテ^{レフシ}
時分ニアタリテ死去ス^{レキヨ}トキハサモアリ
又ヘキヤウニミナヒトオモヘリコトニ

已ニ定ル業因ニヨル
◎定業トハ報時俱

定ヲ定業ト云報定
時不定ト時定報不
定トヲ不定業ト云
如六十丁了義燈五
末 五丁ニ出南本涅槃
廿四丁ニ壽盡死ト中
夫死トヲ具ニ説ク後
漢安世高譯ノ九横死
經灌頂經涅槃經等
ノ九横死ノ説ハ不同ル
コトアレトモミナ中夫
死ニシテ壽盡死ニア
ラス爰ニ於テ定命ト
定業トノ別ヲ可レ知

ニ舉勸命勸
忻求ニ
初勸命ヲ云ミ

二信順ニ

一安心ニ

一惣明

二別明 一向

二報謝ニ

道理ヲカシコトスニ阿弥陀如来ノ
オホセラレケルヤウハ未代ノ凡夫罪
業ノワラタランモノウミハイカホト
フカクトモワレヲ一心ニタラシ衆生ス
カナラススラフヘシトオホセラレタリ
カル時ハイヨク阿弥陀佛ヲカ
クタミマイラセテ極樂ニ往生スヘシ
トオモヒトリテ一向ニ弥陀ヲタフ
トキコト、ウタカフコトウチリホトモ

一正明カク

二結名コトヲ

モツマシキコトナリカクコトクコトコトエノ
ウニハ子テモサメテモ南无阿弥陀佛ノ
トウスバカヤウニヤクタメケマシマス
御アリカタサ御ウレシサヲマウス御礼
コトナリコトラスナハチ佛恩報謝ノ
念佛トハマウスナリヤナカレヨク

延徳四年六月日

假令ハ人アリ七十年ノ
壽アリ他ノ危難ナクシ
テ天壽ヲ終ルコレ定
命壽盡死ナリコレ人
間惣報業ノ招クコト
也レカルニ或ハ二十三十
等ニシテ病等ノ因縁
ニヨテ天壽ヲ終ヘス
シテ中夫スルアリコレ
定命壽盡死ニアラス
コレ人間別報業ニヨ
テ病等ノ違縁ニヨテ
死スルハユル又横死
ナリ壽盡死ノ天壽ヲツ
クシテ死スルモ中夫死
スルモ定業ノ引トコナ
レハ生レ
ハシメレヨリ定レル定
業トノタマフ人多ク中
夫死ヲ定命壽盡死トオ
モフモ
ノアリコレ定命ト定業
トヲ混スルナリ因謂中
夫死タ、過去ノ因ノミ
ニアラ

ス又現在ノ業ノ甚シキニヨルアリ大經下卷ニ待其罪極其壽未盡便頻奪之入惡道ト云如キ現在ノ罪業ニヨテ天壽ツキサルニ奪フテ惡道ニミキ入ルナリ今世ノ善惡禍福ヲ過因ニカセテ今生ノ惡ヲ放ニスルモアリコノ經說ニヨラスンハ何ヲ以テカ自ラモツシミ他ヲモ誠懲スルコトヲエン惡已ニホリ善モ又如此現業ニヨテ壽ヲ工福ヲウルコトアルヘシ今ハ通愆ニ約シテ宿業トノタマフ定業ヲ定命ナリト混スルナカレ問中夫ハ定業ニヨルトナラハ讚ニ定業中夫ノコリヌト云コレ定業モノソコルニ似タリイカン謂定業必受ハ三乘權教ノ所談未入佛法ノ機ニ對シテ教ニ若實大乘ニ於テハ定業モ又轉スルコトヲウトトクコレ北本涅槃三十二品ニ具ニ説ク況ヤ本願一乘法何ノ定業ヲ轉スルコトアタハサラン和語燈七四云一スニ彌陀ヲタノミテニ心ナケハ不定業ヲハ彌陀モ轉シタマヘリ決定業ヲハ來迎シタマフヘシ无益ノコトヲ祈ントテ大事ノ後世ヲワスルコトハ更非本意此約權教所談也同五十五云觀音ヲ念スルニモ一心ニ念スレハ驗候若一心ナケレハシルレ候ハス昔ノ緣厚キ人ハ定業スラ尚轉ス昔モ今モ縁アサキ人ハ塵ハカリ苦ミタモシルレシナレト申シテ候也佛ヲウラミ思召ヘカラレコレ約實大乘所談ノタマフ也

●サモアリヌヘキ 疫癘ニヨテ死スルヤウニ思フナリ

●コノニニ等 仰ハ上ヨリ下ニオホスル言也御一代聞書云聖人ノ御一流ハ阿彌陀如來ノ御授也サレハ御文ニ阿彌陀如來ノ仰セラケルワウトアソハサレ候又云蓮如上入法敬ニ對シテ仰ラレ候今ヲ彌陀ヲタノメト云コトヲ御教ヘ候人ヲシリタルカト仰セラレ候順誓存セスト申サレ候今御教ヘ候人ヲ云ヘシ乃至コトヲ教ル人ハ阿彌陀如來ニテ候彌陀ノ仰ノ出處三說ニ般舟經ハ云阿彌陀佛報言欲來生者當念我名無有休息即得來生觀念法門六ノ所引三卷經上出ツコレヲ元祖ハ選擇ノトスニ二十八ノ願文コレ彌陀ノ勅命ナリ三ニ河喻ニ西岸人有人呼云汝一心正念直來我能護汝或ハ觀經下中品汝稱佛名故ノ文又正覺大音十方世界普流行ノ勅命又ハ第七華坐觀應聲即現即彌陀ノ仰ナリ或ハ三經教主釋迦即彌陀ナリ華嚴ヲトク釋迦ヲ盧舍那佛ト名ケ又密教ヲトク釋迦ヲ大日ト云如シ彌陀ヲトク釋迦即彌陀ノ仰ト云ヘシ此ヲノ説ハ義ナキニ非レトモ蓮師如此ノ思召アリテノタマフトハミエス

●カハルキトハ彌陀ノ仰カクアルトキハナリクアノ約カナリ

●タフトキコト、 兩宝童子敬白文ニ歸命ヲアチタフトタスケテセトヨメリ宗要文ニ引リ

●御アリカタサ御ウレシサヲ申ス等 帖外明應六年ノ御文云ヤスク彌陀ヲ一念タノムカニテ報主ニ往生スヘキコト

ノアリカタサヲフトサ
ヨトロニ出シテモ申ス
ヘキヲタ、南无阿弥陀
佛ト申セハ同シコ、ロ
ニテアル也

▲第十通 ① イマ世
ト二帖目第三通ニ
末代今時ノ衆生

② コノローニシテ道俗
時衆共同心ニレテ上
ノミナクノ言ニ應スル
一心歸命ノ一心ニアラ
スヒトウニスルトハ齊等
共同ノ義ナリ

③ ヲノホカニハ等 弥陀
ヲタノムヘシトス、ムル

所由ヲ示ス末法今時
ノ女人聖道ノ行證ニ
堪サルカ故唯浄土
門可通入路ト云

④ ナニトヤウニタノミ又
後生ヲハナニト子カフハ
キソ等 一心ニ弥陀ヲ
タノミカ初ノ問ヲ答ル
也後生タスケタマヘトハ
後ノ問ヲ答ル也

⑤ 八十三歳 明應六
年ナリ年月ヲ記セサ
ルハ畧ナリ

▲第十一通 微ニアリニ名号ノ由レヲトフニ弥陀ヲタノミヤウヲトフ或
可初ハ聞其名号ヲトフ後ハ信心歡喜ヲ問也トコレ名号ノイハレ即信心ノス
カタナルコトヲシラス名号ノイハレノ外ニ別ニ信心アリト思フヨリオコス問也

ノアリカタサヲフトサ
ヨトロニ出シテモ申ス
ヘキヲタ、南无阿弥陀
佛ト申セハ同シコ、ロ
ニテアル也

▲第十通大分ニ
一 惣勸信心ニ
一 直勸イ
二 遮餘ノ劣
二 別示信相ニ
一 安心ニ
一 微
二 釋

イマノ世ニアラン女人ハミナクコノロー
一ニシテ阿弥陀如来ヲフカクタノミ
タテマツルヘシツノホカニハイツレ法ヲ
信ストイフトモ後生ノタスカルトイフ
コトマクアルヘカラストオモフヘシ
サハ弥陀ヲハナニトヤウニタノミタ
後生ヲハナニト子カフヘキツトイフニ
ナニトワツラヒモナクタノ一心ニ弥陀ヲ
タノミ後生タスケタマヘトフカクタノミ

第十通大分ニ
一 惣勸信心ニ
一 直勸イ
二 遮餘ノ劣
二 別示信相ニ
一 安心ニ
一 微
二 釋

イマノ世ニアラン女人ハミナクコノロー
一ニシテ阿弥陀如来ヲフカクタノミ
タテマツルヘシツノホカニハイツレ法ヲ
信ストイフトモ後生ノタスカルトイフ
コトマクアルヘカラストオモフヘシ
サハ弥陀ヲハナニトヤウニタノミタ
後生ヲハナニト子カフヘキツトイフニ
ナニトワツラヒモナクタノ一心ニ弥陀ヲ
タノミ後生タスケタマヘトフカクタノミ

ニ報謝コト
ヘカラサルモノナリコトハハヤシカト
御タスケアルヘキコトアリカタサヨト
オモヒテ佛恩報謝ノタニ念佛
申スヘキハカリナリアチカシコク

八十三歳 御判

① コレヲモロウヘキヤウ

ハ等且多問ニ準シテ

名号ノイハレト信心ト

別ナル如クニ言ヲ造リ

而シテ抑南无阿弥陀

ノ体ハ以下廣名号ノ

イハレヲ述シテ結文ニ

至テコレスナハナ他カノ

信心ナリト云テ信心

トテ六字ノ外ニアル

ヘカラサル義ヲアラハ

ス蓋聞其名号信心

歡喜ナレハ名号ノイ

ハレヲ先ニノヘタマフ

○ワレラ衆生ノ等南

无ノ二字ヲ後生助ケ

タマヘトタムコノナリト

ノタマフコトハ常教ナリ

今ハ六字ヲ惣シテタム

ムコノナリシテ阿弥陀

佛ノ四字ハ南无ニ具ハル

發願回向ニ攝シテ示

シタマフコレ元祖ノ南无

阿弥陀ト云ハ別シタル

コトハ思フヘカラス阿弥

陀佛ケワレヲ助ケタマヘ

ト云言ト心エテト云吾

祖ノ南无阿弥陀佛ト

タノマセタマヒテトノタ

マフ皆六字ヲ能歸ノ

信相トスル也

○スナハチタム衆生ヲ等

ニ合機法ニ体

ニ合信

ニ合機法ニ体

第十通大分爲

初徵問

二釋二

初物答ニ

二別答ニ

一示名号義ニ

一正示抑免

ナモワアミタフチ

南无阿弥陀佛ト申ハイカ九心ニ

候ヤ然者何ト弥陀ヲタミテ報土

往生ヲハトクヘク候哉ランコレヲ

心得ヘキヤウハツ南无阿弥陀佛ノ六字

ノスカタヲヨク心得ウケテ弥陀ヲハ

タムヘシ抑南无阿弥陀佛ノ躰ハスナ

ハ我等衆生ノ後生タスケタマヘト

タノミ申心ナリスナハチタム衆生ヲ

阿弥陀如来ノヨクシヨシメシテステニ

ムシヤクイリクト

无上大利益ノ功德ヲアタシメスナリ

コトヲ衆生ニ迴向シタマヘルトイヘルハ

コノ心ナリサレハ弥陀ヲタム機ヲ

阿弥陀佛ノタスケタマフ法ナルカニ

己ヲ機法一躰ノ南无阿弥陀佛ト

イヘルコノコノナリ己スナハチ我等カ

ミヤキ

往生ノサタマリ免他カノ信心ナリトハ

心得ヘキ者ナリアナカシコク

明應六年五月廿五日書之記今三歳

ニ合機法ニ体

ニ合信

ニ合機法ニ体

ニ合機法ニ体

ニ合機法ニ体

ニ合機法ニ体

ニ合機法ニ体

ニ合機法ニ体

ニ合機法ニ体

ニ合機法ニ体

ニ合機法ニ体

ニ合機法ニ体

即是其行ノ意三帖第六通ニヨロコ即阿彌陀佛ノ四ノ字ノ意ナリト云テ直ニ
 又發願回向ノ意ナリトノ玉ヘルト義全同シ
 迷シタマフ名号ノイハレヲサシテコレト云信心ハコレラカ往生ノ正因ナリヲ正因ノ
 信心ノスカタ即名号ノ
 イハレナリ名号ノタ
 メハタスカルイハレヲキ
 ケハタメハタスカルノ
 信心オコル故ニ信心ナ
 リトハコレロウヘキト町
 重ニノタマフハ信心トテ
 六字ノ外ニアルヘキヤウ
 ニ思フヲ遮スルナリコ
 レ行者能歸ノタノム
 コロ即名号ノイハレ
 ナリ
 ○帖外八十四歳ノ御文

第十二通大分ニ

一迷會合本意

一惣述

二別明ニ

一正明ニ

一誠非儀
シカレハ

抑毎月兩度ノ寄合ノ由來ハナニ
 タメツトイフニサラニ他ノコトニアラス
 自身ノ往生極樂ノ信心獲得ノ
 タメナルカニナリシカレハ往古ヨリイ
 ニイタルマテモ毎月ノ寄合トイフ
 コトハイツクニモコアリトイヘトモサラニ

粗今章ト同シ

▲第十二通 上人ノ在
 世ハ毎月二十五日ニ
 八日兩度ノ會合アリ
 シヨリ兩度講ノ名オ
 コレリ一帖目第十二
 通ノ下ニ實悟記ヲ引
 テ云如シ顯正鈔下
 云念佛勤修ノ日ハ一
 道場ノ分大旨ハ一月ニ
 一度ナリ一帖目ニ一
 月ニ二度ナリト往古
 ハ一月一度ナリシカ後
 兩度講トシタマフカ
 講ハ講習ノ義古ノ禁
 中ニ維摩講會最勝

二示本意
イカニモ

信心ノ沙汰トテハカツテモテコナシ
 ① 近年ハイツクニモ寄合ノトキハ
 タ、酒飯茶ナントハカリニテミナク
 退散セリコハ佛法ノ本意ニシカレ
 ハカラサル次第ナリイカニモ不信ノ
 面々ニ段々不審ヲモタテ、信心ノ
 有無ヲ沙汰スヘキトヨニナニ所詮モ
 退散セシムル条シカレハカララス
 オホエヒリヨク思案ヲメクラス

講會ナトアリ有徳ノ
僧衆相集リ講談ア
リシヨリ多人寄合コ
トヲ講ト名ク今ハ同行
ヨリ合テ法義ヲ講習
スルナリ

①コトニ近年ハ等帖外
文明十五年御文云々
レアリテサシタル法義
ヲ不審セシメタル人ツ
井ニ一度モコレナキ間
本意ノ外ニオモヘトモ
於于今後悔先ニタ
サル次第也面々各々
ニセメテソノ心中一モ
アルヘカラスタ典樂

二結 所詮

二宗會合要ニ

一正示ニ

一標

二釋ニ

二總括

ヘキコトナリ所詮自今已後ニライテ
ハ不信ノ面々ハアヒタカヒニ信心ノ
讚嘆アルヘキコト肝要ナリ
〆當流ノ安心ノヲモムキトイフハ
アナカチニワカ身ノ罪障ノフカキニ
ヨラスタモロクノ雜行ノコトヲ
テ一心ニ阿弥陀如来ニ歸命シテ今度
ノ大事ノ後生タステタヘトフカク
タマシ衆生ヲハコトククタステタマフ

二結 カク

二總結 コク

ハカリアレハツレヲ食セ
ントオモフ心中ハカリ
ノ人ナリ
①一段 貝原篤信カ
諺草一帛右一段ト云
一キリト云コトテ杜子
美詩ニ二段清水出万
壑ヒ今俗語ニ段息
災ヲヲリマスト云
②アヒタカヒニ御一代
聞書ニ佛法ヲハタ
ヨリアヒク談合申セ
ノ由仰ラレ候讚嘆ハ
談合也
③百即百生 礼讚云
若能如上念々相續

ヘキコトサヲニウタカヒアルヘカラスカクノ
コトクヨクヨロエタル人ハマコトニ百即百生
ナルヘキナリコトウニ毎月ノ寄合ヲ
イタシテモ報恩謝徳ノタメトヨロエテ
コトクノ眞實ノ信心ヲ具足せシメタル
行者トモナツクヘキモノナリアナカレシク
明應七年二月廿五日書
毎月兩度講衆中へ
八十四歳

畢命為期十即十生百即百生

▲第十三通 一年ヲ春秋寒暑等ト云陰陽ヲモテ四時ヲ攝スルナリ具ニ當帖第四通ノ下ノ如シ ①孟夏 四月也 孟春孟夏等ノ孟ハ首也 玉篇云孟始也 四時之首月云孟月

金光明拾遺記七十七

云孟仲季者孟始也

仲中也季末也 十日

ヲ旬ト云又辨ト云又浣

ニ作ル成語考云古者

朝臣十日一給俸為浣

沐之資一月三給以十

日為浣沐之期

②業病 醫家ハ四

大ノ不調ニヨテ病ヲナ

スト云佛法ニテハ過去

ノ業ニヨテ病ヲ生ス

故ニ業病ト云或ハ俗ニ

不可治ノ病ヲ業病ト

云今モ病是死縁コレ

不可治ナリト認信シタ

マフ

③覺悟セシムル 元祖

ハ先相ナリトヨロコヒタ

マフ今ハヨロコフトイハ

ス覺悟ストノタマフシ

カモ安心ノ一途今一定

シタマフカユヘニオトロ

キタマフコトナシ

④法然聖人ノ御言

蓬戸筆談ニ建曆

二年壬申正月御病

第五通大分ニ

一迷自懷念ニ

一死期覺悟ニ

一數老病

乙アキ 夫秋サリ春サリステニ當年ハ明應

カチチチカチウシシ

第七孟夏仲旬コロニナリスルハ予カ

チシイ 年齒ツモリテ八十四歳ツカシシカルニ

當年ニカキリテコトノホカ 病氣ニ

ヲカサルハアヒタ耳目手足身軀コロ

ヤスカラサルアヒタ己シカシナカラ 業病

ノイタリナリマタハ往生極樂ノ先相

ナリト覺悟セシムルトヨロナリコニ

ヨリテ法然聖人ノ御コトニイハク

淨土ヲ子カフ行人ハ病患ヲエヒト

ニコヲタシトツオホセタリシカシ

トモアナカチニ病患ヲヨロコフコトサ

ラニモテヲラスアサニキ身ナリツヘシ

カナシムヘキモ欲サリナカラ予カ安心

ノ一途一念發起平生業成ノ宗旨ニ

ニ往生覺悟

サリナカラ

カチツサチムホナキイイサコラシユ

カチツサチムホナキイイサコラシユ

元言卷之四

卷之四

卷之四

華ニテカセタマフ
傳通記釋抄四十三
高祖上人云待曉天
商客驚鷄鳴猶喜
欣淨土行人得病患
偏樂之

①シカレトモ病患詩

歎異抄云淨土へイ
ソキマイリタキコロノ
ナクテイサカ所勞ノ
コトアレハ死ナンスヤラ
ムトコロホソクオホユル
コトモ煩惱ノ所為也

②イマ一定ノアヒタ 現今

往生一定ノ覺悟定リ
テ疑フトコロナシ御一

代記^初ニハシメ發起ス
ルトコロノ安心ニ相續セ
ラレテタフトクナル一念
ノ心ツ子ニトモ等

③迷懷 説文ニ懷ハ

念思也唐詩五言古
ニ魏徵ノ迷懷ノ詩ア
リ朗詠ニ迷懷篇ア
リ吾祖悲歎迷懷和
讀アリ

④ワレラ居住ノ在所

大津吉寺出口山科
大阪等ヲサストリツ
メテ信心決定スルモ
少キコト今ニ適タルニ
非スア、人有信難

ニ歎他無信

初正迷

ニ迷歎由

初約自壽命

ヲイテハイマ一定ノアヒタ佛恩報盡ノ
稱名ノ行住坐臥ニワスレサルコト聞斷
ナシコトヲイテマニ愚老ニ身迷懷
コアリソノイハワシテ居住ノ在所々々
ノ門下トモカラヲイテオホヨソ心中
ヲミラヨフニトリツメテ信心決定ノス
カタコトナシトオモヒハハリオホキニナケ
キオモフトヨナリソノニハ愚老ステニ
ハ旬ノ齡スルマテ存命セシムルシ

ニ信心決定ノ行者繁昌アリテ
コソイノチナカキルトモオモヒハシル
ヘキニサラニシカクモ決定セシムル
カタコトナシトミラヨリソノイハライカン
トイフニソモク人間界ノ老少不定
コトヲオモラニツケテモイカナルヤミシ
ウケテカ死センヤカル世ノナカノ風情
ナレハイカニモ一日モ片時モイソキテ信
心決定シテ今度ノ往生極樂ヲ一

ニ約他壽命

冠注 御文

ノ金言奇哉

①イカナル病ヲウケテカ
トハ老年壽盡死ニア
ラス壯年病死ハ中大
ナリ南洲ハ老少不定
ノ境ナリ

②人間ノアリサマニカ
セテ士農工商等ノ
産業ヲサス

③肝要ナリ 此言往
生極樂ヲ一定スルニ
係ル人間渡世ノ業ヲ
肝要ナリト云ニアラス
或可往生極樂ヲ一
定スルハ人界受生ノ
本意大事ナルコト云

三勸信結
コトヲモムキ

定シテソノチ人間ノアリサマニカセ
テ世ヲスコスヘキコト肝要ナリトミナク
コロウヘシヨヲモムキヲ心中ニオモヒ
イシテ一念ニ弥陀ヲタムコトヲフ
カクヲコスヘキモノナリアナカレシク

明應七年初夏仲旬第一日
八十四歳老衲書之

弥陀ノ名ヲキウルコトノアルナラハ
南无阿弥陀佛トタムニテヒト

ヲマタス人間ノアリサマニ任セテ世ヲワタルコレ又ニ諦相資ノ宗教ヲ奉スル
モノ、肝要ト云ヘシ或ハ非分ノ希望ヲオコシ或ハ出家發心ヲ本トスル等
真宗行者ノスカタニアラス ④老衲 止觀輔行四之一 云律云衲衣論
云糞掃ニ要覽上 四云納亦名五納衣有五種故 三衣ハ割裁ニテハキ
レクヲツルカ故ニ衲衣ト名ク僧服ノ名ナリ之ヲ服スル僧ナルカニハ僧ノ
ヲ衲ト稱スコレ所服ヲ能服ノ人ニ從ヘテ名ル也 ⑤弥陀ノ名ヲ等 古ニニ義
アリニ上句ハ聞其名号信心歡喜ノコロ下句ハ報謝ノ念佛ヲ南无阿弥
陀佛トタムトハ唱ルナリ元祖南无阿弥陀佛ト云ハ別シタルコトハ思フヘカラス
阿弥陀佛トケレワレヲタスケタマヘトコロエテトタマヒ吾祖南无阿弥陀佛ト
タムセタマヒテトタマフコトナフル六字ノ中ニタムコ、ロカソナルニヒトナフル
念佛ニタム義ノアルコトヲアラハレテ南无阿弥陀佛トタムトタマフニ上
句ハ聞其名号ナリ下句ハ信心歡喜ナリ南无阿弥陀佛トタムトハ信心ト
テ六字ノ外ニハアルヘカラス又一流安心ノ体南无阿弥陀佛ノ六字ノスカタト
ノタマフトコロニシテ六字ヲ全ク能歸ノ信心トシタマフコト信心ハ全ク六字ノイ
ハレヲコロエケタルモノナレハタムコ、ロ即名号ヲ行者ヘウケトリタル信心ナレ
ハナリ前義ハ信心報謝ニ分ツ後義ハタ、一念ノ信相トス已上ニ義香月院

通注 卷之六 日一

ノ説ナリ記事珠ハ初義ニアタル

▲第十四通 初一行ハ標也示珠指ニ六字ノスカタナリトシルヘシト云迄ヲ標トス非也南无阿弥陀佛ノ六字等ノ一行奇ハ別釋ノ中ノ總釋ナリ

①一流 鎮西ハ南无

第廿通六分爲三

初標

二釋ニ

初總釋

二別釋ニ

一引文ヲ奉

二釋成ニ

一約所信ニ

①一流安心ノ躰トイフ事

南无阿弥陀佛ノ六字ノスカタナリト云

ヘシテ六字ヲ善導大師釋シテイフ

言南无者即是歸命亦是發願迴向

之義言阿弥陀佛者即是其行以斯

義故必得往生トイヘリツ南无トイフ

向ニ攝スコレ行卷ニ發願

願回向ヲ法ニ約スル

釋ヲ相承シタマフ故ニ

御文ハ機ニ約ス發願

回向ノ釋ナレ但三帖第

六通ニ南无ハ願ナリ

阿弥陀佛ハ行ナリ

帖外第二通ニツ南

无ノ二字ハ歸命ナリ

命ノコトハ往生ノタメナ

二約能歸ニ

一徵 サレハ

ニシ 二字ハスナチ歸命トイフコトナリ 歸

命トイフ衆生ノ阿弥陀佛後生タ

スケタマヘトタミタテマツルマロナリ

下タ發願迴向トイフハタムトコロノ衆生

ヲ攝取シテスケヒタマフコトナリコ

スナハチヤカテ 阿弥陀佛四字ノコロ

ナリサレハアラヨキノ愚癡闇鈍ノ

樂淨ニ生ントオモヘトナリ執持抄ニ歸命ノコトハ往生ノタメナレ發願ナリ

トシタマフ釋ニヨテ發願ヲ機ニ約ス若發願回向ヲ機ニ約スルトキハ阿弥陀佛

即是其行ヲ發願回向ノ中ニ合セス別ニ阿弥陀佛即是其行ヲ釋スヘキ

ナリルニ機ニ約ス發願回向ハ歸命ノ中ニ合シテ明スニ帖第十五通ニ南无ト云ハスナハチ極樂へ往生セント願ヒテ弥陀ヲフカクタミタテツルコトナリトコレ明ニ發願ヲモテ歸命中ニ攝ス論ノ願生安樂國ヲ天親菩薩歸命之意トノタマフトコロ

二釋ニ

一能歸信相

ナニトタムヘキツトイフニモロクノ雜行ヲスレク一向一心ニ後生タスケタムヘト彌陀ヲタムヘ決定極樂ニ往生スヘキコトサラニツノウタカヒアルヘカラスコトニ南无ノ二字ハ衆生ノ彌陀ヲタム機ノカタナリト云フ阿彌陀佛ノ

二合機法体

三結

發願回向ヲ攝取不捨ノ義トシテ釋シタマフ三帖第六通今章又帖外處々ニ出ツコレ唯觀念佛衆生攝取不捨故名阿彌陀ナルカニニ阿彌陀佛ヲ發願回向ニ合スルトキハ攝取不捨ノ義ヲモテ釋スヘキナリコレ行卷ニ發願回向ノ中へ阿彌陀佛即是其行ヲ合シテ釋シタマフトコロ相承シタマフ也

明應七年四月日

トタムヘキツヲ答ヘテ後生助ケタムヘトタムト答ルナリコレ道理義ニ境界義道理義ノニアリ今ハ以斯義故ノ義ノ字ヲ道理ト云ワレラ一切衆生等

ハ心得往生ノ意也

▲第十五通 遺徳記云明應第五ノ天季秋ノヨ先師年齢八十二歳ニシテ攝州東成郡生玉ノ荘内大坂ト云勝地ヲ求メテ坊舎ヲ建立シテヲ隱居トシタマヘリ則先師上人ヲ信證院ト号ス
二通六十三歳ノ御文ノ奥書ニイフ御譲職ハ延徳元年八月師年七十五歳ノ時也ト云反古裏^四云抑攝州東成郡生玉ノ荘内大坂貴坊草創ノコトハ明應第五秋下旬蓮如上人塚ノ津ヘ御出ノ時御覽ソメラレ一字御建立

其始ヨリ種々ノ奇瑞不思議等コレアリトナン
下ツ御堂ノ礎ノ石モ土中ニアツメオキタルカコトシ水モナキ在所ナリシカレトモ導師ノ御教ニシタカヒエヲウカチミルニ清水湧出セリ初ハ一池ナリシカ今ハイヨク心ノマ、也ステニ天王寺聖徳太子未來記ノ中ニ末世ニ至リ此寺ノ東北ニアリ佛閣建立アルヘキヨシルシオキ一シマスト云々トテ往昔ノ宿縁アサカラサル因縁申スモオカナル物ヲヤ本文第五ノ秋ノ下遺徳記ニヨルニ九月下旬ノコロヨリトアルヘシ九月ノ二字脱寫セルカ

第五通六分爲二

一坊舎建立宿縁

一所住地

二建立時

三居住年時

抑當國攝州東成郡生玉ノ庄内大坂トイフ在所ハ往古ヨリイカナル約束アリケルマサシテ明應第五ノ秋下旬ノコロヨリカリツメナカラコノ在所ヲミツメシヨリステニカタノコトク一字ノ坊舎ヲ建立セシメ當年ハハヤ

四建立宿縁

一居住本意

一約所住

一正述

一居住念願

一簡非本意

二示本意

ステニ三年ノ星霜ヲヘタリキコシ
スナハチ往昔ノ宿縁アサカラサル
因縁ナリトオホエハシヘリヌソシライテ
コノ在所ニ居住セシムル根元ハアナカチニ生涯ヲコロヤスタスヨシ榮花
榮耀ヲコシマタ花鳥風月ニモ
コロヲヨセスアハ无上菩提ノタメ

カテラニ見タラフ地ナリ ○當年 明應第七年ナリ ○星霜 宋傳三九云 星霜累遷 白氏文集十三云 荏苒星霜 換回環節 候推 星八歳星ナリ 通ニ約シテ星ト云別ニ約シテ歳トスコレ年行一次ノ星九カ故ニ一年ノコトナリ

霜ハ正字通ニ麻年白霜 陛下之壽三千霜 李白ト云如シ

●往昔ノ宿縁 法華 提婆品 科註五、云觀ニ

三千大千世界乃至無有如芥子許非是菩薩捨身命處 釋尊因地捨身地ニ寺塔アルコト小經元照疏ニ出ツ經據可考今ハ別シテ反古裏ニ出ルトコロヲサシタマフカ

●一生涯 西域記ニ云生涯怨極厭離塵俗 莊子ニ吾生也有涯 林註ニ涯際也人之生也 有涯際言有盡處也

●アハレ 噫ナリ切ニ思フコトアルトキニアハト云願フコロ又アハレナト、云ハ非ナリ

●一念ノ志 他ヲシテ信心決定セシメントノ懇念ヨリ餘念ナキヲ一念ト云

●偏執ノヤカラ 反古裏ニ云先年日蓮

ニ退出用意 下イサカ

ニ結 己ニ

ニ信心決定ノ行者モ繁昌セシメ

念佛ヲモテウサントモカラモ出来

セシムルヤウニモアヒカレトオモフ一念

コロサシラハコラハカリマタイサノカモ

世間ノ人ナントモ偏執ノヤカラモアリ

ムツカシキ題目ナントモ出来アラシ

トキハスミヤカニヨノ在所ニライテ

執心ノコロヲヤメテ退出スヘキモノ

ナリ己ニヨリテイヨク貴賤道俗ヲ

ミラス金剛堅固ノ信心ヲ決定セシ

メントトコトニ弥陀如来ノ本願ニアヒ

カナヒ別シテ公聖人ノ御本意ニタリ

スヘキモノ故ニツイテ愚老ステニ

當年八十四歳マテ存命セシムル条

不思議ナリマテ下ニ當流法義ニモ

アヒカナク敬クアヒタ本望ノイタリ

黨ソノ諸ノ武士ヲカ
タラヒ數月セメタテ
ツリシカトモソノワツラヒ
ナクイヨク御敏察昌恢
弘先言猶以テ信敬シ
タテマツルトコロナリ

① ムツカシキ題目難題
條目也コレ將來ヲ鑑ミ
タテマカステニ頭如上
人ノ時織田氏ノ難題
アリ今章今ノ御言ニ
ヨテ紀州鷲森へ移
轉シタマフト

② 聖人ノ御本意高
祖開宗ノ本意ハ報土
往生ノ信心ヲ決定セ

レメンタメナリ弥陀ノ本
願ハ信心正因ヲチカヒ
吾真宗ハ信心往生ヲ
スハムコレ西鎮ノ口称ヲ
モテ往因ヲツノルニ
エラフタメノ開宗ナリ

③ 違例不例ト同シ
心地例ナラスナト云例
ハ恒例ニシテコロノ
ツ子ナラヌハ病ノオコル
ナリ

④ 宿善下かせトハイヒ
ナカラハ八ヶ條ニ无宿
善ノ機ニ至リテハカ
オヨハス今ハ御往生
ステニ切近シタマフニヘ

二迷懷三

一數老病
トカハ

二迷念頓
スレ

己ニスクヘカラサルモノ欲シカシハ
愚老當年ノ夏コロヨリ違例セシ
メテイマニライテ本復スカタコナ
シツ井ニ當年寒中ニカナラス
往生ノ本懷ヲトクヘキ条一定トオ
モヒハンヘリアスレク存命ノウチニ
ミナク信心決定アリカシト朝夕
オモヒハンヘリマコトニ宿善下かせト
ハイヒナカラ迷懷トコロシハラクモ

三他結本意

ヤ台トナシマタコト在所ニ三年ノ
居住ヲフルソノ甲斐文オモフヘシ
アヒカマヘテクコノ一七ヶ日報恩講
ノウチニライテ信心決定アリテ
我人一同ニ往生極樂ノ本意ヲ
トケタマフヘキモノナリアチカシク
明應七年十月廿日ヨリハシメテ
コヲヨミテ人々ニ信ヲトラス
ヘキモノナリ

慨歎シテ放下シカタキナリ

⑦ 甲斐 字音ヲカルニテ字ニ意ナシカヒハ詮ナリ

⑧ 廿一日ヨリハシメテ今章十一月廿一日ノ作トモ決シカタシ報恩講前制作アリテ廿一日ヨリ參詣ノ人ニヨミキカセヨトノタマフカ父廿一日作リタマヒテ即日ヨリヨミキカセトノタマフカ

▲第一通 前四帖ハ文明三年七月ヨリ明應七年十月ニ至ル師年五十七歳ヨリ八十四歳ニ至ル二十八箇年間ノ御作五十八通ナリ年月ノ次ニ随テ編集ス第五帖二十二通ハ年月日時ヲ記シタマハサレ御文ノミヲ編次スコレ前四帖ヨリ後ノ御作ト云ニアラスタ、コレ年月ノ知ルヘカラサルナリ

① 末代无智ノ在家止

住 頭正鈔下以下下ニヨテ

造語シタマフ此ニ三對

アリ一ニ上代末代相對

佛滅後佛法流轉ノ

長短佛々一準ナラス

我釋尊ノ遺教正像

亦ノ三時年數ヲトル

コト此亦經ニ異説アリ今八家澄末法燈

第一通大分爲テ

初安心ニ

初能飯機相

二能飯信相ニ

初愍明 阿彌陀

二別明 サラニ

三結歸願意

コレスナチ

末代无智ノ在家止住ノ男女タラシ

トモカスコ、ロラヒトツニシテ阿彌陀佛

ヲフカクタクニマイラセテサラニ餘ノ

カタヘコ、ロラフラス一心一向ニ佛タスケ

タマヘトマウサン衆生ヲタトヒ罪業ハ

深重ナリトモカナラス阿彌陀如来ハ

スクヒマシマスヘシコトスナチ第十八ノ

通 住 印 文 卷之五 一 廣法信成

明記依用ノ説ヲ化土
卷ニ引用シタマフニテ
正五像千末万ノ數ヲ
用タマフカ今家ノ相承
ナリ即正像ノ二時ヲ上
代トシ末法ヲ末代トス
正像ノ二時ハ戒定慧
ノ三學アリ末法ニ入
テハ三學無分ノ時ト

ニ報謝カク

念佛往生ノ誓願ノコロナリカク

コトク決定シテノウヘハ子テモサセテ
モイノチノアラシカキリハ稱名念佛
スヘキモノナリアナカレコク

スニ利智愚鈍相對末代ト雖皆愚鈍无智ナルノミニアラス要集序ニ
利智精進之人未為難如予頑魯之者豈敢ト今ハ聖道事理ノ業因ニ
堪サル機鈍根无智ヲサスニ三ニ在家出家相對无智ノ中ニ亦在家出家アリ
上代ノ出家ハ利智ノモノニ非レハ出家セス末代ノ出家ハ形服ノミヲモテ在
出ヲ分ツニハ出家トタ利智ニカキルヘカラストイヘトモ在家ハソノ境界出家
ト遙ニ劣ナリ序分義ト云又在家者貪求五欲相續是常縱發清心
猶如画水乃至出家者亡身舍命斷欲歸真心若金剛等向圓鏡

求佛地即弘益自他若非絶離塵世此德無由可證寶積經八十二
五ニ在家ニ九十七種ノ過アルコトヲ説ク十住論七十六ニ知家過患品アリ
可見止住上ノ在家ハ所住ナリ止住ハ能住ナリ在家ノ在ハ能住ニシ居在
ノ義ナレトモ在家ヲ惣シテ所住ノ家トス即五欲ノ家ニ止住スルヲ在家止
住ト云フコレ聖道ノ捨家棄欲ニ堪サル劣機ヲモテ本願ノ正所被トス
ノレ浄土經ノ中ニ善男善女ト呼フハコレ在家ヲ正所被トスルナリ聖道教
中ニ比丘比丘尼ト呼フハ出家ヲ所被トスルカ故也觀經九品ノ前六品ノ中前
五品ハ出家ナリ中下品ハ在家ナリコレヲ若有善男善女ト呼タマフニテ可知
タラントアテアノニ約皆タナリ今ハトアノ約ニテ男女トアランナリ
トモカラハ同胞ノ兄弟ヲハラフコト云在家止住ノ中間連中トイハシカ知シ
コノコトヲヒトツニシテ記事珠ニ一心ナリ次ニ更ニ餘ノ方ヘミコトヲフラスハ一向
ナリ私云一心ヲコノコトヲヒトツニスルト訓スルコト自利ノ心ナルニ似タリ且御文ニ
フタミコトナクトノタマフハコレ餘行餘善ニミコトヲカケサル安心ノ一心ナリ今ココ
ヲヒトツニシテトハ安心ノ一心ヲ訓スルニハ非ルカコレ同心ノ義ニシテ末代ノ男女
同心シ心ヲ等フレテトモニ弥陀ヲタメト云コトニテ道俗時衆共同心上云同
心ノ義ニシテ安心ノ一心ハフタミコトナクトノタマフソノ別可考四帖第十通當帖第

十九通可併知。阿弥陀佛ヲフカクタノミトハ祖師以来代々相承ノ御勸ヲ述ス。サラニ餘ノ方以下ハ御再興ノ御勸メタノムコロヲ委ク教ヘタマフナリ。フカクトハ機相ヲカヘリミス自計ヲマシヘサルナリ。マイラセタノミマフスタノミタテマツルト同クミナ尊尚ノ辞ナリコノマイラセノ言重クミルヘカラス重クミレハマ井ラセモコロワロレトノタマフ回向心ニ濫スル也。サラニ餘ノ方ハ等餘佛餘行餘善餘佛土ヲ餘ノ方ト云フラストハ心ヲ向ケサルナリ。佛タスケタヘト等。當帖十三通ニ歸命ト云フハタスケタヘト申スコロナリ。タスケタヘト歸命ノ本義ナリルニ願生歸命ヲ募ル徒ハコノタスケタヘトモテ欲生願生心ナリ願作佛心ナリトス蓋タスケタヘハタノム心ノ外ニアルニアラス故ニ後生助ケタヘトタノムヲ歸命ト云ナリトタマフカノ願生歸命ノ徒ハタノムハ歸命ナリ助ケタヘハ欲生願生心ナリト云御文何レノ處ニカ如此釋シタマフヤ又願作佛心ハ一心歸命ノ信心ニ具スル徳ナルカ故ニ和讃ニ盡十方ノ无碍光佛一心ニ歸命スルヲコソ等願作度生ノ二心ハ一心歸命ノ所具ノ徳用トス帖外ニ後生タスケタヘト申スコロハワレラモ同ク阿弥陀トナラント子カヒ申スコロナリト思フヘキモノナリ。亦此意也御一代記ノ極樂ハタノレムト聞テマイラント子カヒノソムヒトハ佛ニナラス弥陀ヲタノム人ハ佛ニナルト仰ラレ候此言ニテ

可知。タトヒ罪業ハ等。阿弥陀佛ハ字ノコロ願文ノ若不生者不取正覺ノコロ。カクノコトク等。一義ニ上ハ本願ノ相ヲ述ス今ハ受行最勝弘誓ノ相ニシテ如是決定トハ信ナリ子テモサメテモ等ハ行ナリ。今按上ニ能歸ノ信相ヲノフルコレ本願ニ結歸ス今カクノコトク等ハ上ノ信相ヲサスナリ若上ハ所歸ノ本願ナリ今ハ能歸ノ相ナリト分タハ當帖第三通ニコレスナハチ弥陀如来ノ御チカヒ等ト云テ次ニコノウヘニハ等ト云テ能歸ノ信相ヲノヘタマハスセハ上ニ具ニ能歸ノ信相ヲノヘツクセリ何ソ本願ニ結歸スルノ言

第三通大分爲二
一引古語勸誠
二古語ニ分
一引古語勸誠
二勸誠ニ分
ハチン 法藏ヲシトイフトモ後世ヲシラサル人ヲ愚者トスタトヒ一文不知ノ尼入道ナリトイフトモ後世ヲシルヲ智者トストイヘリシカハ當流ノ只アナカチニモロクノ聖教ヲヨミモノヲシラサルトイフトモ一念ノ信心ノイハレヲシラサル人ハイタツラ事ナリトシルヘシ

ヲモテ所歸能歸ノ界
ナリトスヘケンヤ上六即
能歸ヲノヘテ之ヲ願
意ニ合シテ與佛本願
相應故ノ信心ナルコト
ヲアラハス也カクノコト
ク信心決定ノ上ハト云
コノ深可按耳
▲第二通 歡喜抄ニ
加州白山ノ麓ニ四十ガ
村ト云里アリ白山ノ社
僧常ニ往來シ真宗ノ
門徒ニ對シテ宗義ヲ
ソレル門徒不能答之
ヲ上人ニ申ス上人コノ
一通ヲツクリテカノ社

一出文
二信相三
一機相コトニ
二正迷信相
三結勸上人モ

○シハ聖人ノ御コトハモ一切ノ男女多ラン
身ハ弥陀ノ本願ヲ信セスレテハフツト
タスカルトイフ事凡ハカラストオホセラレ
タリコトニハニイカナル女人ナリトイフトモ
モロクノ雜行ヲステ一念ニ弥陀如来
今度ノ後生タスケタヘトフカクタノミ
申サン人八十人モ百人モミナトモ弥陀
ノ報土ニ往生スヘキ事サラクウカカヒ
凡ハカラサルモノナリアナカレク

僧ノミルトコロニオカシム一日社僧來リテ之ヲヨミ沉吟シテ忽我情ヲオリ
後世者トナレリト又加州善性寺ノ説ヲ記シテ云往古大乘寺祇陀寺善
性寺ト云三ノ禪刹アリ善性寺ハ早ク上人ニ歸依ス法敬房空善コト也大
乘寺ハ常ニ蓮師ヲ誦ル空善コト一通ヲ頂戴シ大乘寺ニヨシムルニ此僧一
讀シテ改悔シ上人ニ歸依ス大乘寺善性寺ハ後金澤ニ移轉ス上人ノ真
蹟御文等善性寺ニ傳來区此後説歡喜抄ニノセス又可疑法敬房法名
順誓ニシテコレ蓮師ノ傑者ナリ後蓮師剃髮セシメ弟子トシタマフモ上
ニ非ス又空善ハ播州ノ人法專坊ト号セリト云コト山科連署記ニ出テ法敬房
順誓法專坊空善ソノ別人ナルコトルヘシ故ニコノ後説コトニ信シカタシ
○ソレハ万ノ法藏寺 天台ノ類雜集全部十一卷不記撰者名明曆三年ノ上
本也カノ集五四皇太神ノ託宣ヲ載テ云依那切竹之上有和光之光雖
有三親之重服不出慈悲之家雖曳千日之注連不向不善之門雖通達
八万聖教不知後世者无智者也雖不解一文恐後世者即智者也山海
珍物飯上飾万行修善慈悲上行也社僧ニ示サンタメニ此神語ヲヒキ
タマフカ余未タカノ前説ヲモ信セス蓋神語ヲ引タマフニツキテ蛇足ヲエカク
ナランシカレハ以下ノ文言真宗ノ聖教ヨシ佛法者ヲ誠メタラフニ似タリ又北

冠注印

卷之三

法言律文

本涅槃三十一云一切眾生凡有二種一有智二愚痴若能修習身心慧是名智者若不能修身戒心慧是為愚痴同三十一法句經三十九增一阿含三十九類文アリ如記事珠引又要集上末云調達誦六萬藏經不免那落慈童一念悲願得生兜率則知昇沉差別在心非行コレラモ類文ナリ因謂大論十四十住論十報恩經四等八提婆誦六萬法藏ト云五分律廿五誦八萬四千法藏トトク八万ノ法藏ノ數異說アリニ佛為衆生始終說法名一藏如是八万ニ佛一座說法名一藏如是八万三十六字ヲ為半偈三十二字ヲ為一偈如是八万四半月說戒名為一藏如是八万五佛自說六万四千偈如是八万六佛說塵勞有八万法義亦八万名八万法藏此近止觀一三三出灌頂云且舉大數故云八万具足應云八万四千如俱舍初文云牟尼說法蘊數有八十千此小乘法門非今意思益經三心觀經七等八万四千法藏トトク般舟讚云佛教多門八万四正為衆生機不同後世ヲレラサル此有二類一經不信死後神明更生者此中亦唯愚痴不知有後世モノ又聰慧ニシテ撥尤後世スル者アリニ後世アルコトヲシレトモ出離ヲオモハサルモノ今ハ此二類ニ通ス初ハ愚痴ト邪見トノ人也後ハ放逸ノ人此亦佛者ノ中ニアリ一文不知文字ノ

字ヲタニシラサル者或ハニニノ字タニモシラススヘテ文字ヲレラサルナリ一枚起請文ニ一文不知ノ愚鈍ノ身ニナレテ尼入道トモカラニ同クシテ數異抄云一文不通トモカラニ善見律六云阿摩多々子註云此曰阿摩是母也多々謂父也文句ニ云云尼者女人也通稱女為尼男為那我邦在家ノ女ノ剃髮シタルヲ尼ト云男ノ剃髮シタルヲ入道ト云或ハ沙弥ト稱スルコト万葉源語等ニ出ツ入道寶積經三十六云以淨心於佛法中出家入道同四十三云以淨信心捨家入道男女通シテ剃髮シタルモノヲ入道ト云後生ヲレラサル上ノ二類ニ反シテ又二類アルヘトイヘトモ出離ヲ放フモノヲ後世ヲレラシテ放ハサルモノヲ後世ヲレラストスシカレハ等自下ハ別途ニ約シテ後世ノ知ト不知トヲ分別ス不信心ノ者ヲ不知後世ノ人トシ信心ノ人ヲ知後世者トスコレ終極ニ約スル也

●聖人ノ御コトハ等一現文未詳取意ノ文ナルヘシ法第五ノ五百年ヲ世ノ一切有情ノ如來ノ悲願ヲ信セスハ出離其期ハナカルヘシ今トヨク合ス尚類文アリ云々

●フツ古說不通ノ文字ニアツル今按舊事記ナトニ都ノ字ニフツノ假字アリフツハ一切スヘテト云和語ヲ源語ナトニモ見ユ断然ノコト也

▲第三通 歡喜抄ニ女
人ニカキルノ御文五通ア
リ金ヶ森五ヶ所ノ女房
講中ハ下サルタシニ通
ト三通ト西度ニ賜フカ
蓮俊公ノ添書ニ二度
ニ通アリ于今彼寺ニ
傳來ハ在家ノ尼ハ剃
髮シタル女ナリ女房ハ
未剃髮ノ女ナリ房ハ
居處ニシテ宮室中
央為正室左右云房
疏注ト見ユ女ノ所居
ヲ房ト云今ハ所居ノ
房ヲ能居ノ女ニ名ケ
テ女房ト云ユメク

第三通大分爲ニ
一安心ニ
一機相 夫在
ニ信相 ナリノ

シサイケ アマヨウカウ
夫在家ノ尼女房タラン身ハナニノ
ヤウモナク一心一向ニ阿弥陀佛ヲ
フカクタノミマイラセテ後生タスケタ
ヘトウサンビトヲハミナク御タスケ
アルヘントオモヒトリテサラニウタカヒ
コロユメクアルヘカラスコリスナハチ
弥陀如来ノ御チカヒノ他カ本願ハ
マウスナリコウヅヘハナヲ後生ノタス
カラシコトノウレシサアリカタサヲ

少シナリ乃至一念无有
疑心也 ①コレスナハチ等
上ノ能歸ノ信心即佛
願ト相應スルコトヲ
示ス當帖初通可對
見

▲第四通 ①諸佛ノ
悲願諸佛各衆生无
違誓願度ノ四弘誓
願アリ而モ不能攝末
代罪濁機

◎諸佛ニスケレテ弥陀
偈云發願踰諸佛誓
二十四章大經云我建
超世願

◎十惡五逆ノ罪人

第四通大分爲ニ
一本願生起ニ
一簡諸佛本願
二弥陀別願ニ
一正示生起
コトナリ

オモハタ、南无阿弥陀佛ト
トナフヘキモノナリアナカシコク

抑男子モ女人モ罪ノフカラシトモカラ
ハ諸佛ノ悲願ヲタミテモイマノ時分
末代惡世ナハ諸佛ノ御チカラニテハ
中々カナハサル時ナリ己ヨリテ阿弥陀
如来ト申奉ルハ諸佛ニスケレテ十惡
五逆ノ罪人ヲ我タスケントイフ大願ヲ

冠注 御文

卷之五

法華經疏

唯除ノ抑止逆謗ノ
機ヲ攝スルコトヲ顯ス

○コノユニニ等コト本願
アルカニニナリ自下能
歸ノ信相ヲ示ス

時ヲモイハス等要
集云行住坐臥不簡
時處諸緣時トハ晝

夜十二時即子テモサ
メテモ也或可妄念ノ
オコル時歡喜ノオコル

トキ等ニ通ス處トハ
山林曠野佛像アル
トコロナキトコロヲサス

一義ニ淨處不淨處
ト云ハイカ、

▲第五通 決定抄本
ハ云第十八ノ願ヲコロ
ウルト云ハ名号ヲコロ
ウルナリ名号ヲコロ
ウルト云ハ阿彌陀佛ノ

衆生ニカハリテ願行
ヲ成就シテ凡夫ノ往生
ノ機ニサキタチテ成就
セシキサミ十方衆生
ノ往生ヲ正覺ノ体
トセシコトヲ領解スル
ナリ今章蓋コノ鈔
文ニ就テ今家ノ義ヲ
示スカノ鈔ハ名号ヲコ
ロウルトハ南无阿ミタム

二略述願意

一明歸本願相

一安心ニ

一能歸信相

コノユニ

二所得利益

十八ハ

二報謝

コノウハ

ヲコレトシテ阿彌陀佛トナリ給リ
コノ佛ヲフカクタミテ一念御タスケ
候ト申サン衆生ヲ我タスケス正覺
ナラシトチカヒシテ彌陀トハ我等
カ極樂ニ往生セン事ハ更ニウタカヒ
ナレユニニ心一向ニ阿彌陀如来
タスケ給トフカク心ニウタカヒナク
信シテ我身ノ罪ノフカキ事ヲハウチ
ステ佛ニマカセマイラセテ一念ノ信心
サタマラン輩八十人八十人ナカラ百人ハ
百人ナカラミニ淨土ニ往生スヘキ事
サラニウタカヒナレユウハナナラノ
タフトクオモヒタテツランコロノヲ
コラン時ハ南无阿彌陀佛トト時ヲ
モイハストコロヲモキラハス念佛申シ
コトヲスナチ佛恩報謝ノ念佛ト
申ナリアナカシヨク

第五通大分爲三
一述獲信相ニ

ト云名号ヲキカハア、
ハヤワカ往生成就シニ
ケリ衆生往生セスハ
正覺トラシトチカヒ
タマヒシ正覺ノ果名
ナルカニニト云ヲモテ
名号ヲコロウルトス
トモイハス故ニ夏御文
ニ此ヲ安心ノ相トイハ
スレテ信心ヲトリテノ
ウノ事ナリトタマヘリ
西山ハコレヲモテ安心
トス蓮師ハ信後相續
ノコト、レテ安心ハカナ
ラス名号ノ由ヲコロ

ウルト定メタマフ故ニ今ハ
歸命ト發願回向トノ
ニ意ヲモテ名号ノ由
レヲキク所ニテ行者名
号ノ由レノ如ク歸命
ノ一念オコルコノ歸命
ノ一念所歸ノ佛智ニ
相應スルカ故ニ万善
万行ヲ回施シタマフ
コレヲ發願回向ノコロ
アルヘシト云コレ如来ノ
回向ナリ行卷ニ歸ノ
字訓ヲ至也ト云又歸
說歸稅ノ熟字ヲ出
シテ機ニ約シテ能歸
ノ信相ヲ示シ次發願

初標
二釋二
一惣示ヲ願

二別明ヲ云ニ

三明獲信益ニ

一滅惡益サレハ

信心獲得ストイフハ第十八願ヲコロ

ウナリコロ願ヲコロウルトイフハ

南无阿弥陀佛ノスカタヲコロウルナリ

ヲスニ南无ト歸命スル一念ノ處ニ

發願回向ノコロアルヘシコトスナハチ

弥陀如来ノ凡夫ニ迴向シテスルコト

ナリコトヲ大經ニハ令諸衆生功德

成就トトケリサレハ无始已來ツクリト

ツクル惡業煩惱ヲノコルトコロモナク

三正定益正定

願力不思議ヲモテ消滅スルイハレ

アルカニニ正定聚不退ノクラ井ニ

住ストナリ己ニヨリテ煩惱ヲ断セス

シテ涅槃ヲウトイハコノコロナリ

此義ハ當流一途ノ所談ナルモノナリ

他流ノ人ニ對シテカクコトク沙汰

アルヘカラサル所ナリ能々コロウヘキ

モノナリアナカレコトク

三惣結制禁

冠注 印大

卷之五

身請御文

回向ヲ法ニ約シテ所歸ノ阿彌陀佛ノ發願回向トスコレヲ六字ヲコロウル相トスコレ決定鈔ノ言ヲトルトイヘトモ義意大ニ異ニシテイハ元隨宜轉用ナリ決定鈔ハ正覺ノ一念ヲツル今ハカレニエラシテ南无ト歸命スル一念ト云テ能歸ノ信相ヲ示シ名号ノ由レヲモテ行者信心ノ相ヲ示ス

①發願回向ノコロアルヘシ一義ニ歸命ノコロニ發願回向ノコロアルナリト此ハ執持抄ノ意ニヨテ釋ス今按發願回向ヲ全ク法ニ約スルカ常ナリ今モ歸命ノ一念ニ發願回向ノコロラ感スル義ヲ示スカ故ニコロアルヘシノコロトハ義意ナリ有カ作願回向ノ大悲心ヲサシテコロト云トスルハ文ニ合セス

②令諸衆生等行卷ニ述文贊ヲ引テ云福智ニ嚴成就故備施等衆生行也以己所修利衆生故令功德成ニ功德ノ釋名多種アリ滅惡ヲ言功生善云徳或ハ施功名功歸己云徳或ハ功ハ因ニ名ケ徳ハ果ニ名ケ等アリ

③无始已來无始ナラハ本有ナルヘシ本有ト无始ト語格別ナリ无始トハ因ノ展轉无邊際ヲアラハス本有ト云ハ无因ナリ无始トハ因ナキニアラス而モソノ因ノ始ヲ求ルニ展轉シテ邊際ナキカ故ニ无始ト云俱舍世間品ニ若許諸因差別展轉无有邊際信无始故不越釋門因縁正理ト云コレ佛法无始ヲ云ノ本義ナリ

④ツクリトツクルイキトシイケルモノト云如シイケルモノヲノユサヌヲ云フ今ハツミトイフツミツクリノユサヌヲ云フ

⑤煩惱ヲ断セスレテ論註下^{廿二}有凡夫人煩惱成就亦得生彼淨土三界繫業畢竟不牽則是不斷煩惱得涅槃分^{維摩經注}維摩經注^九不斷煩惱而入涅槃ニヨル正信偈ハ論註ニヨテ造語ス得涅槃ヲ二門偈銘文ハ約當益大意ハ現益トス今モ不退正定ノ益ニ合スルハ現益トスルコロ也コレ改邪鈔真要抄ニ現益トスルニ倣フ也御一代記^八云一念歸命ノトキ不退ノ位ニ住スコレ不退ノ密益ナリコレ涅槃分ナルヨレ仰レ候或為當益或為現益各據一義也當來滅度ヲウルモノ何ソ現生不退ニ住セサラン又現生不退ニ住スルモノ何ソ當來滅度ニ至ラサラン問上ニ惡業煩惱一時消滅ト云今何煩惱ヲ断セスト云ヤ謂歡喜抄ニ法徳ニ約シテ一時消滅ト云願力ノ法徳トシテ惡業煩惱後有ヲ招カス滅ト云ヘシ機ニ約スレハ三毒尚ヤムコトナシ故ニ不斷ト云御一代記^七順誓申上ノ一章可見

⑥此義ハ等六字全ク安心トシ發願回向ヲ法ニ約シ現生正定^{彼土不}用斷惑往生即成佛ノ義西鎮ニ未談ノ他カノ深義ナリ上来ノ義道理極成ストイヘトモ他流ノ人自ノキクトコロニコトナルヲモテ誹謗ヲナサンコトヲ恐ルカ

故三禁シタマフ

▲第六通 和讃ハ大經流通附屬ノ行一念ノ文ヨル行卷云今弥勒附屬之一念即是一聲證文云乃至ハ称名ノ遍數定リナキコトヲ顯ス一念ハ功德ノキハマリ一念ニ方徳悉ク具ハルコト一念即名号ノ由レヲ聞テトナフルノ称名ナルカ故ニ无上功德ヲウレ即選擇本願信スル上ノ一念也故ニ標文ノ一念ノ言信一念ナリ

第六通大分爲三

一標一念ニ

二出文

三釋四

一釋第一句

コノ和讃

一念ニ弥陀ヲタシタテテ凡行者ニハ无上大利ノ功德ヲアタタマフコトヲ和讃ニ聖人ノイハク五濁惡世ノ有情ノ選擇本願信スル不可稱不可說不可思議ノ功德ハ行者ノ身ニミテリク和讃ノ心ハ五濁惡世ノ衆生トイフハ一切我

三釋第一句

无上者一乘真實之利益也小利有上者則是八万四千假門也次下斯等覺悟皆以安養淨刹之大利佛願難思之至徳也所證ノ佛果ヲサシテ无上大利ト云宝積經廿七云尔時大徳阿難語宝上天子言天子汝得大利如來說汝无上道記大論二云云何无上答涅槃法无上也佛自知是涅槃不徒他聞亦將導衆生今至涅槃如諸法中涅槃无上衆生中佛亦無上大經真實之利小經我見是利皆佛果ヲサス證文ト云爲得大利ト云ハ无上涅槃ヲサトルニ則是具足无上功德トモトマヘリ

三釋第三句

カヤウニ

等女人惡人等事ナリサレハカハルアサレシキ一生造惡ノ凡夫ナトモ弥陀如来ヲ一心ニ向ニタラシマイラセテ後生タスケ給ヘトウサシモノヲハカナラススクヒシテスヘキコトサラニ疑ヘカラスカヤウニ弥陀ヲタシタテテモトニハ不可稱不可說不可思議ノ

法華經疏 卷之五 第六通

不可稱 稱ハ称量ノ義秤ヲモテ物ノ輕重ヲハカルヲ稱ト云不可説ハ口業ヲモテトクヘカラサルナリ不可思議ハ意業ヲモテハカルヘカラサルナリ
過去未來現在 安樂集上云若能常修念佛三昧無間現在過

去未來一切諸障皆悉除也問過現已造ナレハ滅スト云ヘシ未來ハ未造ナリ何ソ滅スト云ハン答過去ノ業ヲ因トシ現在ノ業ヲ果トス現在ノ業カ因トナテ未來ノ業増上ス過現已造ノ業滅スルカ故ニ未來未造ノ業オコルヘキナシ即又滅ト云ヘシ義章十六云二已生未生ノ

- 四釋業習テ
- 一正釋三
- 一成善
- 二滅罪
- 三正定三

大功德ヲアタヘマシラスナリ不可稱
不可説不可思議ノ功德トイフコト
カスカキリモナキ大功德ノコトナリ
ヲ大功德ヲ一念ニ弥陀ヲタノミ
下ウス我等衆生ニ迴向レシマスニ
過去未來現在ノ三世業障一時ニ
ツミキエテ正定聚ノ多井々等正覺

善惡ヲ分別スルニ多釋アリ云々道定於中間隔絶因果因義不成名斷已生果義不成名斷未生一道兩能故曰一時要集中本十六云問未來善根未丁有以何回向答判定記有二釋一未來善根雖未有今若發願薰成種攝持力故未來所修任運注向衆生菩提不待更回向也二依此教中菩薩乃至修一念善攝法性故遍於九世故用

- 初正明正定
- 二引證重述
- 三釋意
- 二結要ヲホカ

ノクラ井ナントニサタマルモノナリコノ
コロヲマタ和讃ニイハク弥陀ノ本願信
スヘシ本願信スルヒトハミナ攝取不捨ノ
利益ニ等正覺ニイタルナリトイヘリ
攝取不捨トイフハ己モ一念ニ弥陀ヲ
タノミタテマツル衆生ヲ光明ノナカニ
オサメトリテ信スルコトタニモカハラ子ハ
ステタマハストイフコトナリコノホカニ
イラクノ法門トモアリトイヘトモタハ

彼善根回向也今例
 ミテ可知雜集論七十六
 云作業決定者由宿
 業力感得決定異
 熟相續於此生中必
 造此業何以故應造
 此業期限決定故現
 在已ニルリ未來亦如
 是ナルヘキ也

○フコロヲ々和讃ニ等正像末讚ノ初ノ靈告ノ讚ノ初ノ二句ト五十八首ノ第
 二十四首ノ後ノ二句トヲ合集シテ引タマフ初ニ句ハ選擇本願信スレハ意ヲ成
 ス後ノ二句ハ正定ニ住スル攝取ノ益ニヨルコトヲ成ヌ夏御文ニ智慧ノ念佛
 ウルコトハノ讚ヲ引ニ二首ヲ合集シテ引タマフ古徳ニ此例多シ
 ④信スルコロタニモ ⑤ニノ辭近來語學者流諺譯シテソレカナラスコレナリト
 云義トスコロタニマコトノミチニカナヒナシコノロタニタテシチカヒニタカハスハノ名
 ハ身ヤスカタハトレコノロヒトツヲトルタニナリ今ハ身口ノ起行ハ間斷ストモ

一 念ニ弥陀ヲタム衆生ハ三ノコトク
 ク報土ニ往生スヘキコトヲマシクウタ
 カフコノロアルヘカラサルモノナリ
 アナカシコク

并千子ム
 一 念ニ弥陀ヲタム衆生ハ三ノコトク
 ク報土ニ往生スヘキコトヲマシクウタ
 カフコノロアルヘカラサルモノナリ
 アナカシコク

信心堅固ニシテカハラサルナリ
 取今ハ信心攝取又他流ハ多分ハ不捨少分ハ捨トス今家ハ皆不捨トス又西
 山ハ色心ニ光ヲ分タス今家ハ光明ト攝取トヲ分ツコレラサレテイロノ法門
 ト云コレハタノ攝取ニ
 ツキテイロノ法門ア
 リト云義ナリ一義ニ上
 ニ引ニ首ノ讚ノ外ノ淨
 土ノ法門ヲサス又一義
 ニ化前一代ハ萬ノ法
 門ヲサス又一義ニ上ニ
 明ス信益ノ外ニ眞來
 護持諸佛護念等ノ
 益ヲサス今按コノホカ
 トサスハタノ攝取ノ清
 ノ外又上ニ明ス信益
 ノ外ノ利益ノミヲサス

第七通太分爲テ
 一所被機相テ
 一 女人別障 夫女人
 二 諸佛棄捨 三ノユニ
 一 能攝頽カ 二カニ
 二 能被法ニ

コノホカニ等 歡喜抄ニ經ニハ念佛衆生攝
 夫女人ノ身ハ五障三從トテオトコ
 下サリテカルルフカキツミノアルナリコ
 三ニ一切ノ女人ヲハ十方ニミシテ諸佛
 モワカチカラニテハ女人ヲハホトケニナシ
 タマフコトサラニナレシカルニ阿彌陀如來
 コノ女人ヲハ口トヒトリタスケントイフ
 大願ヲヨシテスクヒタマフナリコノホト

ニアラス一通所明法

門ノ外ト云コロニテ平

生業成不來迎等ノ

法門ヲサスコラノ法

門ミナレト云ニ非ル也

▲第七通 五障三從

一帖第十通ノ下ニ如出

① 十方ニシテ諸佛

小乘ニテハ三千界唯

佛ト立ルカ故ニ三世ノ

諸佛トハイヘトモ十方ニ

諸佛マシメストハイハス

大乘ハ諸佛遍ク十方

世界ニ出セスト云フ十

方諸佛出世ストハ小乘

ノハサルトコロ也

二能歸信相干

一安心三

一微己言リ

二釋去之

三結了之

ケラタラズスハ女人ノ身ノホトケニルト

イフコト凡ヘカラサルナリヨニヨリテ

ナニトコロヲモモチマタナニト阿弥陀

ホトケヲタラシマイラセテホトケニ九ヘ

キツナレハナラヤウモイラスタマフタマ

ロナク一向ニ阿弥陀佛ハカリヲタラシ

マイラセテ後生タスケタマヘトオモフ

コノヒトツミテヤスクホトケニナルヘキ

ナリヲコロソツニナリホトモウタカヒ

ナケハカナラズ極樂ヘマイリテ

ウツクレキホトケトハナルヘキナリ

コウヘニコロウヘキヤウハトキ念佛

ヲウレテカルアサマシキワララ

ヤスクタスケマシメス阿弥陀如来ノ

御恩ノ御ウレシサアリカタサヲ報セン

タニ念佛マウスヘキハカリナリト

コロウヘキモノナリアナカシコク

① ワレトリタスケン第

三十五女人成佛ノ願

ナリワレトリトハ設我

得佛ノ我ノ字ナリ

② ナニトコロヲモチ

コレヲタノフタコロナク

ト答ルナリ

③ ナニト阿弥陀ホトケ

ヲタノミコレヲ後生助

ケタマヘトタノメト答ル

ナリ

④ ココロソツニナリ等

和語燈四ニ云佛ノ

願カニテ必ス往生スル

ナリト云道理ヲ聞テ

フカク信シテツキナリ

經注 印文

卷之五

淨行 第十一

ハカリモウタカハヌコロナリ ○カナラス カハ疑ノ辞カニアラサルヲカナラスト云
確實ニシテタカハサル也今之ヲカサ子テ云ハ疑フカキ女人ニ對スルカ故ニ叮
重ニノタマフナリ ○ウクシキ 万葉十二ニ莊嚴ノ二字ヲウクシキト訓テア
リコレ女人ノ美艶ヲコ
ノム情ニ對スルナリ

トキク 子テモサメ
テモナリステラガテラ
ニトナト云ニ非ス論語
ノ學而時習之ト云モ
時々尅々起居動靜
ニ道ヲマナフ也今ハ信
心為本ノ家ニハ念佛
スルハ自力也ト思フ徒
アリ念佛ノ信心ヲ決定
セルモノ何ソ念佛セ
ザラン念佛セサルモノ

ナレハ念佛ノ信心ヲトリ
タル念佛ノ行者ニ非ス
自ノ口稱ヲモテ往因ト
計スルハ自力念佛ナリ
佛頭カニヨテ往生一定
ナリノ決定心ノ上ヨリ
トナフル念佛何ソ自力
トセン又唱ルニ放逸十
ルヘカラス自警々々
▲第八通五劫思惟ハ
大經ニ具足五劫思惟
攝取莊嚴佛國清淨
之行 清淨之行トハ
佛ノ淨土ヲ建立スルノ因行即ソノ淨土ニ往生スル衆生ノ行ナリ布施ヲモテ建立
スル淨土ハ衆生因ノ行モ布施ナリ持戒ヲモテ莊嚴スル淨土ハ因亦持戒
ナルコト如常今ハ六度万行ヲ修シテ果号ノ法ニ収ルコレ弥陀因行故ニ衆生
ノ報土ニ往生スヘキスカタナリコノユヘニ

- 第八通六分為テ
- 一因位本願ニ
- 一生起ノ五
- 二願意ニ
- 一物標
- 二願意ニ
- 三結 南无阿
- 二果上攝化ニ
- 一名号義ニ
- 一標 サハ
- 二教ニ
- 一惣示ヲニ

コヲシテイ ホシヨ
ソノ五劫思惟ノ本願トイフモ毛載
永劫ノ修行トイフモ々々我等一切
衆生ヲアナカチニタスケ給ハンカタシ
方便ニ阿彌陀如来御辛勞アリテ
南无阿彌陀佛トイフ本願ヲタテ
ミシクテ。ヨロノ衆生ノ一念ニ阿彌
陀佛ヲタシメイラセテモロノノ

サフキウ 井チカウ井チム ミタ
雜行ヲステ一向心ニ弥陀ヲタシ
衆生ヲタスケシハワ正覺ナラシト
チカヒ給ヒテ南无阿彌陀佛トナリシ
マスコシスナハチ我等カエスク極樂ニ
往生スヘキイハナリト元ヘシサシハ
南无阿彌陀佛六字ノ只一切衆生
ノ報土ニ往生スヘキスカタナリコノユヘニ

ノ生因モ名号ノ一法ナリ此五劫ハ攝取佛國行也此五劫前ニ諸佛淨土ヲ
觀見シタマフニ別ニ一劫ヲヘタマフコト如來會ニ出ツ①毘載永劫大經ニ
不可思議毘載永劫不可思議ハ華嚴ノ十大數ノ一毘載ハ黃帝廿三數
ノ第十五ハ毘ナリ第
廿三ヲ載トスコレ俗數
ノ中ト終トヲ出シ兆載
ト云清涼大疏抄四十
五三ニ數多シテ天地
ノ間ニ容レノスル一不
能故ニ數ノ名トスト

◎南无阿弥陀佛ト
イフ本願歡喜抄南
无阿弥陀佛ハ正覺ノ
果名ナレハソノ果ヲ因ノ
願ニ南无阿弥陀佛ト本
願ト名ク況ヤ乃至十

念念佛往生ヲ誓フ
願ナレハ南无阿弥陀
佛ノ本願ト云私云ニ
義俱穩ニ存而可ナリ
タシ蓮師ノコハ第
十八願ノ体即南无阿
弥陀佛ナリ六字相即
信心ノ相ナレニ信心ノ
相ヲ第十八願意トシ
メシタマフ展轉相成
アノ奇哉

◎マヨヒノ衆生等此ハ
上ノ南无阿弥陀佛ノ
願意ヲ釋シ南无阿
弥陀佛トナリタシマス
ハ結スル也

二別叙ニシテ

南无ト歸命スレハヤカテ阿弥陀佛ノ

我等ヲタスケタムルコトナリコトニ
南无ニ字ハ衆生ノ弥陀如來ニムカヒ

タテマツリテ後生タスケタムヘトマウス

コトナルヘシカヤウニ弥陀ヲタムルコト

サススレタマフコトヲ阿弥陀佛四字

トコトニテアリケリトオモフヘキモノナリ

一機相

二信相モク

己ニヨリテイカナル十惡五逆五障

三從ノ女人ナリトモモロクノ雜行ヲ

ステヒタスラ後生タスケタムヘトマウス

サレ入ルハ八十人モアレ百人モアレ

ミナアトククモラサスタスケタマフヘシ

ヲヲモキヲウタカヒナク信セシ輩ハ

眞實ノ弥陀ノ淨土ニ往生スヘキモノ

アナカレコト

○サレ南无阿弥陀佛ノ等々ム衆生ヲ助ケル大悲心ノ名号ナレハコレ衆生
往生ノ体ヲアラハスナム衆生ヲ助ケスハノ永劫ノ大悲心ハコレ能成ナリ
能修ナリ此大悲心ヲモテ万行ヲ修シタマフ万行ハ所修ナリ果号ノ六字
ハ所成ナリ因位能成
ノ大悲心成就シタマフ
トコロ即果号ノ六字也
六字全ク行者ノ信心
トナルカ故ニ信体即
名号ノスカタナリ

第九通大分爲テ
一 惣標
二 別釋
三 約法釋
一 名号義
一 惣明
二 別明
一 離釋
一 惣明
二 別明
一 離釋

ヒタスラ 源語ナト

ニレハク出ツ一向ノ二
字ヲヒタスラト訓ス
又只管ノ字ヲ用ニヒ
タハ直ノ字ノコロ物ノ
ヘタナキナリ唯識
論ニ總ノ字ヲヒタ

タスケタマヘルコロナカニ南无ノ
二字ハ歸命ノコロナリ歸命トイフ
衆生モ口ノ雜行ヲステ阿弥陀佛
後生タスケタマヘト一向ニタノミタテマツル

ト訓ムヒタハヒタノクニシ
テ種子ノ薰スルナリ刹
那ヲヘタテス現行ヲ生
スルヲヒタト云今ハ弥
陀ヲタムコロニ所歸
ノ弥陀ニ於テ機ノ計
ノヘタテナクタハニ弥
陀ニスカルナリ

▲第九通一義トハ如
前解一ハ專一ニシテ要
義ヲ云

① 名トハ古説云々ス
蓋コレカリモフケテ近ク

サス語ナリ上ノ名トハ百人モアレ百人モアレノ語ハタムモノヲ十人百人ト
カリニ人数ヲモフケテサス也今ノ名トハ南无ト歸命スレハ未タタム機ノナキ衆
生ノ中歸命スルモノアレハトタム衆生ヲカリモフケテタメハタスケタマフト示スコ

コロナルヘシコロニニ衆生ヲモラサス
弥陀如来ノヨリシロシメシテタスケマシ
テスコロナリコニヨリテ南无トタム
衆生ヲ阿弥陀佛ノタスケマシマス
道理ナルカニニ南无阿弥陀佛ノ
六字ノスカタハスナハキワラニ切衆生
ノ平等ニタスカリツルスカタナリト

法華經疏 卷之三 請法食

タトハ八譬喩ノタトヘト通ス譬喩ハカリモフケテ近クサス言ナレハ今假令ノタトヘ
ト義ヤ、通ス。コレヨリテ南无ト等上ニ六字ノ由レヲ離釋セルヲ合シテ惣シテ
釋シテ法体ノ名号ノ由レヲ示ス道理ハ義ノ字ノコロイハレコトナリタノム衆生
ヲタスケタマフイハレナルカ故ニ六字ノスカタハタノム衆生ノ平等ニタスカルイハレナリ
平等ノ言一切衆生ノ言ニ應スルタノム衆生ノタスカルトタスカラサルトアルニアラス
タノムハミナ助カルナリイハレテ即十生ノコロ也。サレハ他カノ信心ヲ等上ハ
法体ノ名号ノイハレヲ結シ今ハ法体名号ノイハレヲ能歸ノ信心ノ相ナリト名号
ノ相即信心ノスカタ也ト示ス。一切ノ聖教ノ記事珠ニ經律論皆聖教ナル
カ故ニ廣ク聖道淨土ノ三藏相承七祖ノ聖教ニ通ス明燈抄ニ三經七祖ノ
經論釋ヲサス又一義ヲ出シテ云一代佛敎兼テ孔老ノ敎モミナク名号ヲ
信セシムルニ歸ス故内外兩典ヲ攝シテ一切ノ聖教ト云私云記事珠ノ義ヲ優
トス吾祖行卷ニ涅槃華嚴ヲ引テ名号一乘海ヲ成シ信卷ニ涅槃華嚴
ヲ引テ大信心ノ義ヲ證ス華嚴涅槃ヲ引テ一代經ノ始終ヲ舉テ中間
ヲ攝ス行卷ハ一代經ハ名号ニ歸スルヲ示シ信卷ハ一代經信ノ法ニ歸
スルコトヲ示ス大經序分ノ光闡道敎ハ一切ノ聖敎ナリ眞實之利ハ名号也
觀經七緣ノ化前序ヲ立ル比コノ意ナリコト本行信ニ卷ノ意ヲウケテノタ

下フトコロナリ

▲第十通 聖人ノ釋
名一帖初通ノ如シ今
聖人トノミ云フハ通漫
ナリ別譯ヲアケサルハ
漢和ノ國風名ヲ避ル
ヲ敬トス今モ尊出宗
シテ高諱ヲノセス或ハ
經ノ初二時佛ト云テ
別名釋迦トイハサルハ
闍浮ノ教主ハ釋尊ニ
シテ餘佛ニ非ルカ故
簡別スルコトヲ用ヒス
我真宗ノ祖ハ親鸞
上人ナルコト不待言
故々通ヲ舉ルルニ

二結歸信相

サレハ

二約敎結ミ

シラルナリ。サレハ他カノ信心ヲウルト
イフモ己シカシナカラ南无阿弥陀佛
ノ六字ノコロナリコトニ一切ノ聖敎
トイフモタ、南无阿弥陀佛ノ六字ヲ
信セシメンカタメナリトイフコトナリト
オモフヘキモノナリアチカシク

第十通大分爲テ

一標

二釋ニ

聖人一流御勸化ヲモキハ信心ヲ
モチ本トセラレ候ツユハモロクノ

ルルニ一帖以來高諱
ヲ出シタマフコトアルハ
コレ他流ノ義ニ簡シテ
別途ノ宗義ヲ示ス
之カ為ニコトサラニ高
諱ヲ出シタマフ今章
ノ如キハ他流ノ人ニ授
ルニアラス真宗門徒
ニ宗要ヲ示シタマフニ
ニタ、聖人ト云テ義
即足ル

①一流 元祖門下西
山鎮西九品長樂寺ノ

四ヶ流アリカレニ簡シテ一流ト云流ハ流類ノ義漢書藝文志ニ儒道等ノ流ヲ列ルニ各家ト云家ハ人民ノ所居別ナルカ如クソノ奉スルコトヲ教別ナルカ故ニ家ト云ヒ流ト云フ

一安心ニ	雜行ヲナケステ一心ニ弥陀ニ歸命
一正迷ノミハ	スハ不可思議ノ願カドシテ佛ノカタ
二引證ノミ并	ヨリ往生ハ治定セシメタマフソノクラ并
二報謝	ヲ一念發起入正定之聚トモ釋シ
	ソノウヘノ稱名念佛ハ如来ノ力往等
	サタタミヒシ御恩報盡ノ念佛トコ、
	ロウヘキナリアナカシコク

勸化 南本涅槃十四七云尔後勸化令其安住菩提

◎本トセラレ候 本トハ正本正要ヲ義トス末ニ對シテ云ニアラス執持抄ニ往生淨土ノタメニハタク信心ヲ要トス其外ヲカハリミサルナリ若末ニ對ストハ往生淨土ノタメニハ信心ヲ本トス起行ヲ末トスト云ヘシ若シカラハ起行モ往生ノタメニスルト云義ニナル正定之因唯信心ノ義壞ス又ソノ外ヲカハリミサルナリト云何ソ往生ノタメノ末ト云モノヲ見シヤ深思焉華嚴ニ信為道元一功德母大論ニ佛海大海信為能入ト云信ハ通佛法ノ信ニシテ深信因果ニスキス今ハ報土正定ノ真因他力回向ノ大信カレト曰ヲ同フシテカタラシヤ

◎ソノユハハトハ徵スルナリ即上ニ標スル信心為本ノ所由ヲ徵起スルナリモロモロノ雜行等ハソノ信心ヲ本トスル所由ヲ迷ル也即捨雜歸正ノ信心オコルトキ往生定ル口稱ノ念佛ヲマテテ往生定ルニ非ス己カ信心為本トスメタマフ所由ナリ己他流ノ口稱ヲ以テ往因成スト計スルニエラヒタマフ所ニシテ初ニ聖人一流ト標シタマフ素意ナリシカラハ口稱ノ念佛ハ何ノ為ニカナスヤ謂往生一定ノ佛恩ヲ報スル称名ナリト古說ニソノユハハ以下ヲ料シテ迷為本相狀ト云アリ相狀ノ言未穩 ①ナケステ、 捨ノ字也スルコト著キヲ云抑天台ニ捨廢之別名ノ方便品ニ正直捨方便コレ手ヲツケヌヲ捨ト云今ハ雜行ニコ、ロヲカケヌ也具ニ雜行雜修自力心ト云ヘシ今ハ雜行ノ言ニ所捨

ノ法ヲ攝シテ近クサトス也。不可思議ノ等。願カノ妙用ヲホメテ不可思議ト云。ソノ位ヲ等。帖外文正元年ノ御文云此位ノ人ヲ竜樹菩薩ハ即時入必定云。曇鸞和尚ハ一念發起入正定之聚ト釋シタマヘリ。又帖外一第五通ノ中ニ今一通ト始終ヲ同フスル文アリテ其中ニ入正定之聚ト釋シタマヘリ。ナル或ハ今章タマヘリノ四字ヲ脱セルカ或ハ竜樹ハ即時入必定ト云ノ言ヲ脱スルカ之聚トモ釋シトモノ辭對句アルニ似タリ蓋意ノ達スルヲ主トシテ文ノ巧拙ヲコトセザルニカ餘ハ當帖第二十一通ノ下ニ云ヘシ。

▲第十一通 五帖中報恩講ノ御文七通三帖第十一通四帖第五六七八第十
五通及今章ナリ此七
通ヲヨムニ一ニ信心ノ行
者ノ希ナル古今同シ七
通ニ信心決定ノ人ノ
少キコトヲ數キタマフ
參詣ノ人多ハ名聞人
並ニシテ實ニ出要ヲ
念スルモノ希ナル古今

同レ上人ノ在世ステニ
然リ今日ノ末徒實ノ
信行ノ人ナキコト可知
又報恩講ノ御文ニカ
キリテ称名ヲ勸メタ
マハスコレ參詣ノ諸人ニ
六時中ノ称名念佛ノ
本行ヲツクスカ故ニ之
ヲ勸ルコトヲ用ヒスコレ
亦感有餘モ也今時
報恩講參詣ノ道俗
名聞人並ハ古ニ同スレ
トモ其称名念佛ノ聲
疎ニシテ古ニ似スコレ
既之餘哉

第十通分爲二
初勸信二
一定所勸人
抑ヲ御正忌ノウチニ參詣ヲイタシ
コロサシラハ己報恩謝徳ヲナサント
オモヒテ聖人ノ御ニヒミイランヒトノ
ナカニライテ信心ヲ獲得せシメタル
ヒトモスルヘシマタ不信心ノトモカラモア
ニ能勸意ヲ
初正勸ニスル
ルヘシモテノホカノ大事ナリツノユハ
信心ヲ決定セスハ今度ノ報主ノ往
ハ不定ナリサレハ不信ノヒトモスミヤカニ
決定ノコロラトルヘシ人間ハ不定ノ
サカヒナリ極樂ハ常住ノ國ナリサレハ
不定ノ人間ニアランヨリモ常住ノ極
樂ヲ子カフヘキモノナリサレハ當流

人間ハ不定ノ境ナリ
三結勸サレ
法苑珠林 卷之五 法苑珠林

人間ノ言人界ト云カ如シタノ正報ヲ云ニアラズ四洲皆人ナレトモ北洲ハ千年西洲ハ五百年東洲ハ二百五十年命數定レリ南洲ハ老少不定ニシテ中夫アリ

○極樂ハ常住ノ國ナリ

○大經ニ建立常然无衰无變法事讚云極樂无為涅槃界般舟讚云一入涅槃常住國

○サレ當流等改邪抄本云淨土一門

ニツイテ光明寺ノ御釋ヲウカフニ安心起行作業ノニアリトモヘタリソノウチ起行作業ノ篇ヲナラ方便ノカタトサレヲイテ往生淨土ノ正因ハ安心ヲモテ定得スヘキヨシヲ釋成セラレ无常迅速ノ境速ニ往生一定ノ位ニ至ルヘシ往生ノ定ルハ信ニアリ故ニ信心ヲ先トスル也

○ソレ人間ニ流布等帖外文明第三ノ御文ニ其中大坊主ノ言

二信相二

一簡異計

二人間

二迷正義二

一畧明一

ニ信心ノカタヲモテサキトセラシタル

ソノエヲヨシラスハイタツラコトナリ

イソキテ安心決定シテ淨土ノ往生

ヲ子カフヘキナリソノ人間ニ流布シテ

ミナ人ノコロエタルトナリハナニテ分別

モナククニニタリ稱名ハカリヲトナ

タラハ極樂ニ往生スヘキヤウニオモヘ

リソノオホキニオホツカキ次第ナリ

他方ノ信心ヲトルトイフモ別トトニハ

アラス南无阿弥陀佛ノ六字ノ

コロヲヨシリタルヲモテ信決定

ストハイフナリソモノ信心ノ身トイフ

ハ經ニイハク聞其名號信心歡喜

イハリ善導ノイスク南无トイフハ歸

命マタ己發願迴向ノ義ナリ阿弥陀

佛トイフハスナチソノ行トイハリ南无

トイフニ字ノコロハモロクノ雜行ヲ

ステウタカヒナク一心一向ニ阿弥陀佛

二廣明二

一引文ノモク

二釋意二

一名号義

南无ト

ニ當流聖人ノ御勸化ノ次第ハワレテモ大坊主ノ一分ニテ候巨細ハヨクモ存知セス候サリナカテ凡ソ先師ナントノ申シオキ候趣ハタ念佛タニモ申セハ助リ候トハカリ承リオキ候又云吉藤專光寺ノ門徒中ノ面々安心ノ次第大畧推量セシムルニ念佛タニ申シテ毎月道場ノ寄合ニオイテ懈怠ナクハ往生スヘキナントハカリ存知候カ

ニ能信相ニニ惣結
 三惣結
 己スナチ

ヲタミタテマツルコトナリサテ阿彌陀佛トイフ四字ノマロハ心ニ彌陀ヲ歸命スル衆生ヲヤウモナクタスケタマヘルイハカスナチ阿彌陀佛四字ノコトナリサレハ南無阿彌陀佛ノ身ヲカクコトクモロエワケタルヲ信心トルハイフナリ己スナチ他カノ信心ヲヨクモロエタル念佛ノ行者トハマラスナリアナカシコク

ナニノ分別モナク正行雜行ノ分別ナキ也雜行ハ非本願回向ノ行念佛ハ本願行ニシテ不向ノ行ナリ選擇本願ノ行タルコトヲシラス故ニ自ノ口稱ヲタノム本願ヲ信スルコトナレコレ信ノナキヲナニノ分別ナレト云別ノコトハアラス信心トテ六字ノ外ニアリト云異義ヲアラフソモく信心ノ体トイフハ等成就ノ文ヲ引テ名号ノ由レヲコロエワケタルカ信心ナルコトヲ示善導ノ釋ヲ引テ信心ノスカタ即名号ノ由ナルコトヲアラハス亦云成就ノ文ハ惣シテ信心ノ体ヲ出シ善導ノ釋ハ別シテ名号ノ由レヲアラハス

彌陀ヲ歸命スル又ハ彌陀ニ歸命スレハニトヲトノ辭別意ナシ眞實明ニ歸命セヨ難思議ヲ歸命セヨノ如シ

第十二通大分ニ
 一能歸機相
 一能歸信相
 一安心ニ
 一他カ信心相
 一信相カル

當流ノ安心ヲモムキヲクシクシラシトオモヒトハアチカチニ智慧才覺モイラスタ、ワカ身ハツミフカキアサシキモノナリトオモヒトリテカル機マテ

ノ体等ニ体ハ体相ニシ
テ体性ニアラス即名号
ノスカタナリコロナリ
イハレナリ此結文名号
ノ体ヲ信心トスル成就
ノ文ニ合ス

⑧ コレスナチ等 コレ

トハ名号ノイハレヲコ
ロエワケタル信心ヲサス
コノ信即名号ノ由レ
ナリ

▲第十二通 二帖第

十二通ノ御文半ヨリ
文言今章ト大同シ
① 智慧才覺モイ
ラスニ帖目ニハコノ次ニ

男女貴賤モイラスノ
句アリ

◎ 後生タスケタマヘコ

レ往生一定ノ決定心
ノスカタナリコノタスケ
タマヘノコロハタスケタ
マフノ本願ナリト信知シ
テオコルトコロナレハタ
スケタマヘトタムハ行者
ノタシテ助ラフノコロ
ニアラス助クル法ニ向
フコロナレハ往生一定
ノ決定心ニシテ一念
歡喜ノ信ナリ

◎ 八万四千ノ光明佛

ノ色身ヨリ放チタラフ

冠注 御文

二信益ノ御

モタスケタマヘルホトケハ阿弥陀如来
ハカリナリトシリテナニヤウモナクヒトス
チニコノ阿弥陀ホトケノ御神ニヒシト
スカリマイラスルオモヒヲナシテ後生
ヲタスケタマヘトタムミマウセハコノ阿弥
陀如来ハフカクヨロコヒニシクテソノ
御身ヨリ八万四千ノオホキナ光光明ヲ
ハナチテソノ光明ノチカニソノ人ヲオ
サマイシテヲキタマフヘシサレハコノコロ

二他カ信意義

一惣嘆サテハ

二別嘆ニ

一正嘆コ光

キヤウ 名ウミヤウヘンセウニハウセカイ子ムフナ
ヲ經ニ六光明遍照十方世界念佛
衆生攝取不捨トトカシタリトコロウ
ヘシサテハワカ身ノホトケニナラシスル
ハナレワツラヒモナシアラ殊勝ノ
超世ノ本願ヤアリカタノ弥陀如来
ノ光明ヤコノ光明ノ縁ニアヒタテマツ
ラスハ无始ヨリコノカタノ无明業障
ノオツロシキヤマヒノナホルトイフコトハ
サラニモテアルヘカラサルモノナリ

光明ナルハ色光ナリ
色光心光別ニ光体
アルニアラス上ニ云々
●無明業障一切煩
惱ノ主六無明ナルカニ
ニ之ヲアケテ餘ノ煩
惱ヲ攝ス業障トハ
業即障也業ハ身口
七支ニナストコロノ惡
業コレミナ出離生死
ヲ障フ無明ヲ病ニタ
トフルコト天台家ニ常
ニ云フトコロ選擇集
ニモ出ツ
●サラニモテサラハ
アラト通シテ新ノ義

二結
上報謝ヲレニヨ

シカニヨノ光明ノ縁ニモヨホサレテ
宿善ノ機アリテ他カ信心トイフコト
ヲハイマステニエタリコシシカシナカラ
彌陀如来ノ御カタヨリサツケニシク
タ九信心トハヤカテアラハニシラ乙タリ
カ九カニニ行者ノヲヨストヨノ信心ニ
アラス彌陀如来他カノ大信心トイ
コトハイマコソアキラカニシラシタリ
コシニヨリテカタシケナクモヒトタヒ

ナルヘレ俗ニ新ニ事業
ヲナスヲサラニト云コト
シスヘテモノアラタムル
ヲ云 今ハ無明業障
ノ病ノナホルコト光明
ノカヲ除キテハ外ニ
アラタメテナホルト云
コトナシト也コレヲツ
ヨメテサラノトタム
處々サラニノ言ニナ此
例ナリ

他カノ信心ヲエタラン人ハミナ彌
陀如来ノ御恩ヲオモヒハカリテ
佛恩報謝ノタメニツ子ニ稱名念
佛ヲマウシタテマツルヘキモノナリ
アナカシコノ

シカシナカラ日本紀ニ一切ノ二字ヲヨメリミナトイハンカコトシ
●彌陀如来ノ御恩ヲコノ下ニ帖目ニアリカタキホトヲノ八字アリオモハカルトハ
思量スルコト也ツ子ニ佛恩ヲ念スルト云念ノ字ノコロニアタル
▲第十三通 帖外ニ今章ト体裁同キ御文アリ初ニ問者アリテ六字ノ功德
ハ只大ナリト云テクハシクセス後問ノ信心即六字ナル義ヲ示スコト詳ナリシ名

号所具ノ功德ヲ喜フハ二十願真門ノ機ニシテ滅罪生善即罪福信相
リ多善根ノ名号ヲトナヘテ自ノ善根トシ以テ自ノ罪障ヲ滅セントスコレ
廢惡修善ノ散心ナリ小經ニ餘善ヲ少善トシ念佛ヲ多福德トトキタマ
フハ此真門ノ機ニ應
スルノ願説ナリ故ニ
善本徳本ノ名ハ罪福
信ニ應スル方便ヲ帶
ル名ナルカ故ニ弘願ノ
念佛ニ名クルコトナシ
故ニ二十願ニ植諸徳
本ト云智慧段ニ修
習善本トクコレ自ノ
罪障ヲオシテ之ヲ
滅セントヲ欲シ多善
根ノ名号ヲトナヘテ
罪障ヲ償ントス故ニ

第十三通大分三

一嘆名号徳

二釋名号義
明信相二

一惣明サハ

ソナモ南无阿弥陀佛トウス文字クシ少
カスワツカニ六字ナハサミ功能ノ
アルヘキトモオホエサルニコノ六字ノ
名號ミヤウカクノウチニムシヤウシム六无上甚深ノ功德利
益ノ廣大ヤクシクタイ九コトサラニソノキハマリ
ナキモノナリサレハ信心シムヲトルトイフモ
コノ六字ノウチニロクシコモレリトシルヘシ

名号所具ノ功德ヲ尊
フ弘願ノ念佛ハ功德
ヲ尊フヲ主トセス故ニ
今章名号ノ功德ノ大
ナルコトヲ詳ニセス名号
ノ功德ヲ信スルニアラ
ストナヘテ己カ善根ト
シテ往生セント計スル
ニアラス功德ハ弥陀ヨ
リ回施スルトコロナリ行
者ハ何ヲカ信スル謂選
擇本願ヲ信スルナリ
元祖順彼佛願故ノ
一句魂ニソミ肝ニコタヘテ尊シトノタマフハ此意也一向專念名号ト自ノ口称
ヲ信スルニ非ス一向專念ハ佛ノ本願ナリ故ニ信スルトコロハ本願ヲ信スルナリ
称我名字ト願シク若不生者トチカヒタリ称我名字ニ信ヲ立ルハ西鎮ナリ

二別釋三

一引文

サラチニ別ニ信心シムトテ六字ノホカニハ
アルヘカラサルモノナリ
抑ソクコノ南无阿弥陀佛ナモ六字ヲ善
導釋タカシヤクシテナモイハク南无トイフハ歸命
ナリホチタウマタ己發願エカク廻向ノ義ナリ
阿弥陀佛アマミタフチトイフハソノ行ナリキヤウコノ義
ヲモテワシヤウノユヘニカナラス往生スルコトヲウ

冠主印 卷之五 二十三 諸法無行論

若不生者三信ヲ立ルハ今家ナリ故ニ吾祖ハ化卷ニ棄雜行兮歸本願ト云テ
歸念佛トイハス又選擇本願信スハト云テ不可稱說ノ功德ハ次ノ句ニフシトモ
所信トセスタノ行者ノ所得トス八十通中名号ノ功德ヲ云コトナキニアラサレトモ
功德ヲ信スルコトヲイ
ハス名号ノ義ヲ人テ
能信ノ相トシタマフ抑
コレ發願回向ヲ法ニ約
シテ行者ハ歸命スルノ
ミ何ソ功德ヲ求ルコト
ヲセン①无上甚深ノ
功德 選擇集本 十九
云然則弥陀一佛所有
四智三身十力四无畏
等一切内證功德相好
光明說法利生等一切
外用功德皆悉攝在

一合釈カハ	トイリレカハコノ釋ノコロヲナニト
二離釋ニ	コロウヘキントイフニタトハ我等ヲトキ ノ惡業煩惱ノ身ナリトイフトモ一念ニ 阿弥陀佛ニ歸命セハカナラスソノ 機ヲシロシメシテタスケタマフヘシツシ 歸命トイハスナチタスケタマヘトマ ウスコノロナリサレハ念ニ弥陀ヲタム
一歸命ソレ	
二發願回向ニ	
一直釋サレ	

阿弥陀佛名号之中
名ハコレ体ヲ召フ体ノ万
徳皆名ニ攝ス
古哥ニ夢ソカシタトヘ
ハオモフアラマシラカナ
ヘタリトモイクホトノ世
ソオモフコトノカナハ又
世ノナラヒナレトモソノ
オモフコトノカナフ世ナ
リトカリモフケテカナ
フトテモイクホトモナ
キ世ノ中ノ夢幻ノ如シ
トカリモフケテカナフ世トスルヲタトヘハト云ワレテ未タ弥陀ヲタム機オコラサ
レトモカリモフケテタノムコロオコラハカナラスタスケタマフナリトタノムコロノ
未タオコラヌヲ正ニオコリタルニモフケテ云ヲタトヘハト云コノタトヘハノ言ワレテ如

二勝益ヲ發	衆生ニ无上大利益ノ功德ヲアタタマフ ヲ發願回向トハマウスナリコノ發願 回向ノ大善大功德ヲワレテ衆生ニ アタヘマシマヌヘニ无始曠劫ヨリコノ カタツクリヲキタル惡業煩惱ヲハ一時 ニ消滅シタマフニワレテ煩惱惡業 ハコトククミナキエテステニ正定聚
-------	---

第十四通 造像功德經上 九 女身ヲ受ルハ因縁ヲトク一者愛好女
身二者貪著女欲三者口常讚美女人容質四者心不正直覆藏所作
五者厭薄自夫六者念望他夫七者知人有恩己皆逆八者邪偽莊飾
欲他迷惑

上臈 臈ハ臘ノ字
ヲ正トス上臈ハ上位
ナリ下臈ハ下位ナリ
男女ニ通シテ位階ヲ
云禁中ニ女官ニ上臈
小上臈中臈下臈ノ
名アリ上臈ハ三位
典侍大臣ノ女或ハ大
臣ノ孫ナリ公卿ノ女ヲ
小上臈トシ侍臣ノ女
以下ヲ中臈トシ如茂
日吉等ノ社司ノ女ヲ

二釋一
一所歸相
二能歸相
一正述

テハナトヤウニ弥陀ヲ信スヘキソ
トイフニナニワツラヒモナク阿弥陀
如来ヲヒシトクニミイラセテ今度
ノ大事ノ後生タスケタマフ
サン女人ヲハアヤマタスケタマフニ
サテワカ身ヲミフカキコトヲハウチ
スニ、弥陀ニマカセマイラセテタハ

下臈トス
下主 地下ノ女ヲ云
源語蜻蛉ニイカナルソ
ト下主女ニトヘトアリ
實悟記ニ上臈下
主ノ言アリニハ男ノ上
ニ上臈下主ヲノタマフ
今ハ女人ノ貴キヲ上臈
ト云賤シキヲ下主ト云
實悟記トオナシカス
ヒナラヒトニキリ徒
然草ニ心ニヒトカケテ
トアルヒハヒシクノ意ニテ緊ノ字ヲヨメリ必至必死ノ意モアリ

二結 カヤウニ

一心ニ弥陀如来後生タスケタマヘト
タノミマウサハソノ身ヲヨクシロシ
テタスケタマフヘキコトウタカヒアル
ヘカラストト八十人アリトモ百人アリ
トモニナコトクク極樂ニ往生スヘ
キコトサラソノウタカフコトウホトモ
モツヘカラストカヤウニ信セン女人ハ

ナラフカク イクタヒモタノメト云ニアラス上ニ如此ヤスキコトヲ等ノ御言アル
カクハカリチカヒ在ス弥陀佛ヲシラテヒサシク年ヲヘニケリ昔ノ不信ニ對シテ

ナラト云昔ノ信ノ上ヲ云ニアラスナラハ町重ニオモフナリ俗語ノイヨクナリ
又尚ノ字ニ必ノ訓アリ記事珠ニ家語ニ尚有説ノ尚ヲ王肅註ニ尚猶必ノ
釋ヲ引ケリ後世ノ哥ニイヨクノ意ニヨメルアリ今モ後世ノ詞ニナラフテイヨク
弥陀ヲタノムヘシトス、メ

タマフトミレハ文理通暢
セリコレ和語ノ上ニ古
風中昔後世ノツカヒ
カタノカハレルナリ漢字
ニアテ解スルナトスコ
フル困ンテ解スルモノ
ト云ヘキカ四帖第九通
ニカ、ル時ハイヨク阿
弥陀佛ヲフカクタノミ
義大ニ同シ

▲第十五通問ニ三
アリ一ニ所被ノ機ヲ

トヒニニ能歸ノコロノモ
チヤウヲトヒニニタノミ
ヤウヲトフナリ答ニ先
所被ノ機ヲ答ヘテ能
歸ノ信相ヲトフニ三ノ
問ハ更ニ徴シテ示シタ
マフ己十惡五逆ノ愚
入五障三從ノ女人ニ至ル
マテ救ヒ在スト云コトヲ
シルヲ信トスルノ弊ヲ
破センカタメニ更ニ徴
シテ釋スルモノハコレ
十劫異解ノ末ヲタノス
ナリイカヤウニ心ヲモチ
テトハヨキコロニナルヤ
アシキコロヲヤメテタ

一迷安心ニ
一徴

二結勸カク
淨土ニムルヘシカクノコトクヤスキコト
ヲイマ、テ信シタテマツラサルコトノ
アサマシサヨトオモヒテナラノクフ
カク弥陀如来ヲタノミタテマツルヘキ
モノナリアナカレコク

一能歸信相
一信心ニ
一再徴

二釋一
機ノ衆生ヲタスケ給ツ又イカヤウニ
弥陀ヲタノミイカヤウニ心ヲモチテタス
カレヘキヤラシムツ機ヲイハテ十惡五逆ノ
罪人ナリトモ五障三從ノ女人ナリトモ
サラニソノ罪業ノ深重ニヨロラハカク
ヘカラスト、他カノ大信心一ニテ眞實
ノ極樂往生ヲトクヘキモノナリサレハ
ソノ信心トイフハイカヤウニコ、ロヲモチ
テ弥陀ヲハナニトヤウニタノムヘキヤラシ

二釋二

冠注御大

卷之五

二十八

言注録

言注録

言注録

言注録

言注録

言注録

言注録

言注録

ノムヤト問也之ヲ答ル
 ニ何ノヤウモナクトハヨ
 キコ、ロニナリテタノムニ
 アラスアシキコ、ロヲヤ
 メテタノムニアラスタノ
 ムニコ、ロノモチヤウナ
 キナリタ、モロクノ雜
 行以下ハ上ノナヒトヤウ
 ニタノムヘキヤラシラ答
 ルナリ ①ワロキコ、ロ久
 遠劫來助正間雜ノ
 心ヲモテ自行ヲタノミ
 往生セントスル定散心
 ヲワロキコ、ロト云定散
 心コレ善ナレトモ迦葉
 カ涅槃經ノ會座ニ以

一信相

ツシ信心ヲトイトイフハヤウモナクタ、

二信益

モロクノ雜行雜修自カナントイフ

一正迷カク

ワロキ心ヲフリステ、一心ニフカク弥陀

二結

ニ歸スルヲウタカヒナキヲ真實

二結

信心トイフウスナリカクノコトク一心ニタノミ

二結

一向ニタノム衆生ヲカタシケチモ弥陀

二結

如來ハ多シロシメシテヲ機ヲ光明ヲ

二結

今チテヒカリノ中ニオサメヲキマシク

二結

テ極樂へ往生セシムヘキナリ己ヲ念

前ハ是邪見人ト云シカ
 如シ尔前一代經ヲ聞
 テ邪見人トナレルニア
 ラス涅槃ノ常住佛性
 ノ正教ヲキ、タルニ對
 シテ佛性常住ノ理ヲ
 シラサルヲ邪見人ト云
 金銀ハ貴重ノ宝ナレト
 モ金片少ニテモ若眼
 中ニ入テハ惡ト云テ除
 カスシハアラス定散ノ
 心ノ金片モ信心ノ慧
 眼ヲ損ス不除シテヤ
 ンヤ ①一心ニタノミ一向ニタノム
 タノミタノムマ行四段ノ活語別意ナシ一心ハ信ニ約
 シ一向ハ法ニツク言ナレトモ今ハ二心ナレト云コ、ロニシテ鑿テ去ヘカラス

二報謝ヲウヘ

佛衆生ヲ攝取シタマフトイフコト

二愍結

ナリコノウヘニタトヒ一期ノアヒタマウス

二愍結

念佛ナリトモ佛恩報謝ノ念佛

二愍結

コ、ロウヘキナリ己ヲ當流ノ信心ヲ

二愍結

ヨクコ、ロエタル念佛行者トイフハキ

二愍結

モノナリアナカシコク

▲第十六通 今章別ニ感スルコトアリテ製シタマフカ古説云々トモ誠據ノ
信用スルニ足ルヲ見ス一通ノ造語存覺法語ニヨル法語ハ无常輪ヲ明ス下ニ
後鳥羽上皇隱岐國謫居中ニ製シタマフ无常講式文ヲ引用シタマフ今
章亦之ヲ引用ス法語

以下往檢

①浮生 李伯宴桃李

園序ニ浮生如夢社

律ニ浮生看物變

淺ノ生涯ヲ浮生ト云

人間一生ノ物換リ星移

實体ナキコト浮雲ノ去

來處ヲ定メサルカ如シ

ハカナキノ言モトハ何ノ

計畧モナキヲ云コレ

ヨリ轉シテ定メナク常

ナキヲハカナシト云源氏

第十六通大分爲

一明浮生相

一愆示 夫人

二別示

一引古語

夫人間ノ浮生ナル相ヲツラク觀

スルニオホヨリハカナキモノハコト世ノ始

中終マホロシコトクナル一期ナリサレハ

イマタ万歳ノ人身ヲウケタリトイフ

事ヲキカス一生スキヤスレトイイタ

リテタカ百年ノ形軀ヲタモツヘキヤ

我ヤサキ人ヤサキケフトモシラスアス

トモシラスヲクシサキタツ人ハモトノ

シツクスモノ露ヨリモシケレトイリ

サレハ朝ニ紅顔アリテ夕ニ白骨

トナル身ナリステニ无常ノ風キ

タリヌレハスナハチフタツノマナコタ

チマナニトチヒトツノイキナカクタエ

ヌレハ紅顔ムナシク變シテ桃李ノ

一重示 无常相

一畧示

二廣述

一新死相

ニハカナキノ石ノタスレ
ト云ハカリツメノ意也
詞花集ニ身ヲシラテ
人ヲウラムルコトコロソ
チル花ヨリモハカナカル
ケレ

①一期 輔行ノ三

云一期云壽連持云

命一期ハ期限有生ノ

カキリアルナリ始中

終ハ少年壯年老年

ナリ

②今ニ至テ 蓮師御

在世ヲサス安樂集下ニ云此。壽命大期不過百年釋尊滅後已ニ二
千五百年定命減シテ五十六歳イカテカ百年ノ壽ヲ保シヤ家僧傳三十
宗淵挽辭ニ舉世應元百歳人百歳終作塚中塵五雜俎五云人壽不過

百八十二百歳三百歳ノ壽ヲエタルヒトナキニアラスコレ希トシテ史傳ニノスル
トコロ非常ノ壽ナリコレラハ少在属無トス
●モトノシツクスエノツニ古今ス
エノ露モトノ平ヤ世ノ
中ノオクシ先ツ例ナル
ラシシツクハ万葉ニ滴
ノ字ナリ葉本ニアルハ
露也葉本ニアルハシ
ツクナリ本トホトノ次
ナリ本ナルカサキニオ
チ未ナルカ後ニオウル
定メナシトイヘリトハ已
上講式ノ文ナリ

●サレハ朝ニ以下法語
ノ言ヲ活套シテ重テ
无常ノ相ヲ述ス朗
詠云朝有紅顔詩世
路暮為白骨朽郊原
紅顔ハ顔色ノ美ヲ云
桃李ノヨッホヒハ形容ノ
艶ナルヲ云詩經ニ何
彼穠矣顔如桃李
●六親眷属 大經ニ
六親眷属 孟蘭盆
經疏新記下末云六親
者父母兄弟夫妻或云
男女不取兄弟眷属
者一切姻戚通於表裡
記云六親者依老子註出之註中或云未詳何典若準漢書註六親者父
母兄弟妻子蓋從人所立故有不同姻戚皆親表即母族裏即父族六
親ノ外ノ父母族祖父母伯叔及堂弟姪等三十眷属ナリ妙玄六ノ二初ニ
譬如父母遺體攬之成身得為天性性親愛故名眷更相臣順故名属

ヨソホヒヲウシナヒヌルトキハ六親
眷属アツマリテナケキカナシトモ
更ニソノ甲斐アルヘカラスサテシモ
アルヘキ事ナラ子ハトテ野外ニヲ
クリテ夜半ノケフリトナシハテヌハ
タノ白骨ノミソノコシリア心トイフ
●中ノクヲロカナリサレハ人間ノハカ
ニ勸所求
ニ葬後相
サレシモ

ナキ事ハ老少不定ノサカヒナレハ
タレノ人モハヤク後生ノ一大事ヲ心ニ
カケテ阿彌陀佛ヲフカクタノミ
マイラセテ念佛マウスヘキモノナリ
アナカシコノ

冠注 卯
卷之五
三十一
護法 官成

釋箋云宿縁相關如性親愛今日受得名為臣屬
 霧ニサテシモシヒハツマシウ「サハシカナリサテハシカアリテナリナケキカナシ
 ムラシカト云シカナケキノミシテアルヘキニアラサレハナリノミシモハ俗語ノバ
 カリ也」夜半ノ煙 古代葬儀ハ必ス夜中ニ行フニハ松明提灯ナトヲ
 用ル西域記ニ初云送終殯葬其儀有三一曰火葬積薪焚燒二曰水葬沉
 流漂散三曰野葬棄林飼獸佛法ニテハ火葬ヲ用ル寄歸傳ニ云云尔依
 佛教苾芻亡者觀之決死與向燒處尋即以火焚之當燒之時親友
 咸萃在一邊坐或結草為坐或聚土作臺或置軌石以充坐物令一能
 者誦无常經半紙勿令疲久然後各念无常還本所「吾邦ハ漢ト同ク
 土中ニ埋葬ス文武帝四年元興寺道昭火葬ヲ行フコト續紀文武紀釋
 書道昭ノ傳ニ出ツ尔来火葬行ハレテ埋葬太少シ明治六年禁火葬後亦
 入戸遠隔地ニ火葬場ヲ立ルコトヲ許ス支那ハ上古ハ野葬ナルコト孟子ニ
 出ツ「夜半々々夜ナリハハ辞ナリ」中く俗語ノ結句ト云コトシアル
 コトイヒツクスヘキニアラスアルト云ニイフハカヘリテアルノスカタイヒツク
 サス「オロカハオロソカナリアルト云ニイフハシタシクイヒツクサレヌヘ言ハ却テ疎
 ナリアルハ可憐ノ義善惡吉凶ニ通ス

▲第十七通 女人ノ性 愛着フカシ故ニ世路
 ニフケリ子孫ヲ愛シ
 テ佛法ヲ尊フコト起
 ラス適出離ヲ念スル
 心ノ起ルハ宿善ノ發ス
 ルナリ安樂集上ニ云
 彼論又云有二種人得
 福无量无遺何等為
 一者樂說法人二者
 樂聽法人乃至佛告
 阿難此之二人於因中
 時為法因縁千里不
 難是故今日最為殊
 勝

- 第十七通分爲テ
- 一 勸信ニ
- 一 受法機ニ
- 二 能受相ニ
- 一 安心
- 二 報謝

ソレ一切ノ女人ノ身ハ後生ヲ大事ニ
 オモヒ佛法ヲタフトクオモフ心アラハ
 ナニヤウモナク阿弥陀如来ヲカ
 タクミマイラセテモロクノ雜行ヲ
 リステ、一心ニ後生ヲ御タスケ候ヘト
 ヒシトタクン女人ハカナラス極樂ニ往
 生スヘキ事サラニウタカヒアルヘカラス
 カヤウニオモヒトリテノチハヒタスヲ
 弥陀如来ノ御タスケニアツカル

冠生 佛法ハタフトシ

ト思フ人アリ聞法ヲ
コノミ供養ヲ事トス
レトモ實ニ後生ヲ大事
ニ思ハヌハワカ信ノ得
否ヲ人ニトヒモセス談
合モセスタ、キ、テ喜ラ
ノミコレ後生ヲ一大事
ナリトオモハヌナリ

○ヤスク御助ニアツカル
ヘキコトノ等 ヤスクハ
アツカルニ係ルナリ佛ノ
助ケタマフハ大願業カ
ヲ用ユワレラ、助ルハタ、
タノムハカリニテ何ノヤ
ウモナキユヘヤスキナリ
御タスケケノヤスキニアラ

スワレラカ助カルコトノヤ
スキ也
▲第十八通 ツミノフカキ
コトヲハウチステ、オノレ
カウミノフカキヲナケ
クハ散善心ノナコリ也
又コ、ロノ散乱ヲナ
ケクハ定善心ノ餘習
ナリナケクニヨテ散乱
オサマルニアラスツニ滅
スルニアラスタ、オモヒ
ステ、カヘリミサルヘシ
①サレヲキテ手ヲツ
ケヌナリコレ雜行雜
修ハ修スルモノアリ修
セサルモノアリ修スル

第八通分爲二

- 一安心ニ
- 一正明信相ニ
- 一標
- 一釋

ヘキ事ノアリカタサ又タフトサヨト
フカク信シテ子テモサマテモ南无阿
彌陀佛ニタ子ト申ヘキハカリナリ
己ヲ信心トリタル念佛者ト申ス
モノナリアナカシコト

當流聖人ノスルマシマス安心トイフハ
ナニヤウモナクマツ我身ノアサマシキ
ツミノフカキコトヲハウチステ、モロクノ

二結

二報謝サテ

雜行雜修ノコロヲサレヲキテ一心ニ
阿彌陀如来後生タスケタマヘト一念
ニフカクタノミタテツラシモノヲハ
タトヘ千人八百人八百人ナカラ
ミナモラサスタスケタマフヘシコサラ
ニウタカフヘカラサルモノナリカヤウニ
ヨクコ、ロエタル人ヲ信心ノ行者ト
イフナリサテマウヘミナヲ我身ノ
後生ノタスカラン事ノウシシサラ

フステ修セサルハサシ
オクト云ニアラススヘ
テ手ヲツケヌヲ云

▲第十九通 ●ソノホ

カニハイツレノ法等日
徒諸宗無得道ト云
ハ諸宗ノ教法スヘテ
教益ナレト誹謗スル
ナリ今ハシカラス諸教
ミナ佛ノ所説ニシテ如
説修行セハソノ益ア
リシカルニ末代ノ悪人
女人ナレハソノ教ノ如ク
如説修行スルコトアタ
ハス故ニタスカルコト

第十九通大分三

一勸信ニ

一正勸

二勸由ソ秀

二信相三

オモヒイタサントキハ子テモサメテモ
南无阿弥陀佛ナモワアミタフチノトトナフヘキ
モノナリアナカシコク

ソレ末代ノ悪人女人タラン輩ハ
心ヲ一ニシテ阿弥陀佛ヲ
フカクタノミタテマツルヘシツノホカニ
イツレノ法ヲ信ストイフトモ後生ノ
タスカルトイフ事ヌメクアルヘカラス

アルヘカラスト云

◎心ヲ一ニシテ 當帖

初通ノコ、ロラ一ニシテ
ノ言ト同シク同心スル
ヲ云上ニミナク一ア
リコノミナクニカ、ル
心ヲ一ニシテノ言ナハ
同シク弥陀ヲタノメト
云コトニテ安心ノ一心
ノコトニハアラス
◎サラク更ノ字ナリ
サラクトカサヌル疑フ
ヘカラサルヲツヨク云フ
ナリ

▲第二十通 ●サルホ

トニシカアルホトニナリ

初徴

二釋

三結 サラク

第二十通大分三

一廣述信相

一勸信

シカレハ阿弥陀如来ヲハナニトヤウニ
タノミ後生ヲハ子カスキツトイフニ
ナレワツラヒモナクタノ一心ニ阿弥陀
如来ヲヒシトタノミ後生タスケタヘ
トフカクタノミ申サンヲハカナラス
御タスケアルヘキ事サラクウ多カ
アルヘカラサルモノナリアナカシコク

ソレ一切ノ女人タラン身ハ弥陀如来

下ノ无上ノ大願ヲオコ
シタマフ弥陀ナルホト
ニト云トコロヘカハルナリ
无上ノ大願トハ諸佛ノ
ステタマヘル女人ヲ救フ
ト云カ无上殊勝ノ大
願ナリ大經ニ起發元
上殊勝之願四十八
願ハ弥陀ノ別願ニシ
テミナ諸佛ニ共セサル
无上殊勝ノ願ナレトモ
今ハ別シテ第三十五
女人往生願ヲサシテ
无上殊勝ノ願トスヨ
佛法ノ器ニアラスト
諸佛ニステラレタル

女人ヲ攝スル願ナレハ
ナリ

世ニコエタル大願我
建起世願又發願踰
諸佛コレナリ今ハ別
シテ第三十五ノ願ヲサ
ス第十一願ニ至滅度
ト誓フハ成佛ヲチカフ
也第十八願ノ若不生
者ハ往生ヲチカフナリ
故ニ今ノ變成男子ノ
願即女人成佛ノ願女人往生ノ願ナリコニ劫疑中女人為家ナレカ故ニ此別願
ヲタテタマフト云ト黒谷ノ大經釋ニ出ルコト一帖目第九通ノコトシ凡四十八願
ニ真アリ假アリ第十一二十三第十七十八第二十二第三十三三十四三十五ノ九願
真實ナリ行信證真土卷ニ引用ナリ中ニ於テ第三十五願ハ大經讀ニ述シタ
マフ第十九二十第二十八第四十八願ハ方便ナリ化土卷往生文類方便願意

ニ迷由

ヲヒシトタノミ後生タスケタマヘト申
サン女人ヲハカナラス御タスケアルヘシ
サルホトニ諸佛ノステタマヘル女人ヲ
阿弥陀如来ヒトリ我タスケスハ
マタイツシノ佛ノタスケタマハソト
オホシメシテ无上ノ大願ヲヲコシテ
我諸佛ニスレシテ女人ヲタスケン
トテ五劫カアヒタ思惟シ永劫カ
アヒタ修行シテ世ニコエタル大願ヲ

ニ結勸ヨミニ

ヲコシテ女人成佛トイハ殊勝ノ
願ヲヲコシメシテ弥陀ナリコノニ
フカク弥陀ヲタノミ後生タスケタマヘト
申サン女人ハミナク極樂ニ往生ス
ヘキモノナリアナカシコク

ノ下ニ引用シタマフ餘ノ三十五願ハ真假ニ通ス今第三十五ノ願ハ和讃ニ第十二願
意ノ次ニ出シタマヒテ上ノ必至滅度真實報主ノ大義門功德ノ義ヲアラハス也
▲第二十一通 諸ノ雜行ヲスルハ善モホシカラサルナリ罪業ヲカクトモ等ハ惡モ
マタオソレナシ也コノ善

第三通六為テ

- 一安心テ
- 一正勸テ
- 一能信相

惡ノニツ或ハ善ヲ執シテ
自力ニ墮シ或ハ機ノ惡
ニ封セラレテ佛智ヲタ
ノミガテナル今ハ善惡
トモニ心ヲカケス佛
願ノ強弱ニ託スルコレ
タノムコノロナリ
①一念發起住正定聚
此文一帖第二通當帖
第十通及今章上ニ
引用スコレ論註易行
道ノ釋文ヲ取意ス

當流ノ安心トイフハナニヤウモナク
モロクノ雜行雜修ノコロラスデ、
ワカ身ハイカナル罪業ヲカクトモ
ソシテハ佛ニマカセマイラセテ々一心ニ
阿彌陀如來ヲ一念ニラカクタノミ
テイラセテ御タスケサフヲトモウサン
衆生ヲ八十人八十人百人八百人十カラ

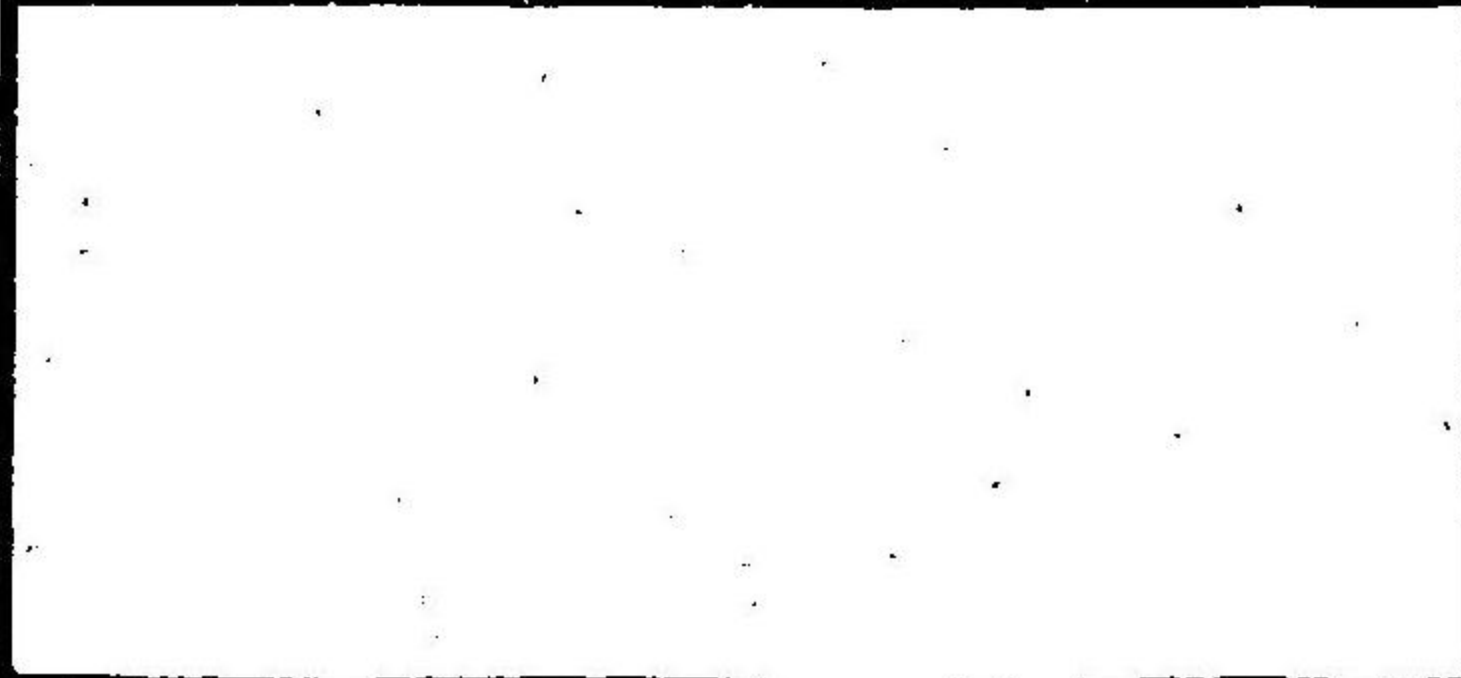
論註ハ本易行品人能
念是佛等ノ釋意ヲ
廣スル論註ノ信佛因
縁ヲ今一念發起ト
云コレ即入正定ノ即ノ
字成就ノ文ノ即得此
乃至一念ノ時尅九ヲ
モテ一念發起ト云此
一念信卷有ニ釋初
約時尅信樂開發ノ
トキヲ一念ト云コレ初
念ニ約スニ約念体ニ
此ハ相續ニ通ス時尅ニ
約スル一念ノハ元ニノ
義相續ノニ念三念ヲ
エラフ一心一念ノハ專

- 二結勸ニ
- 一直結
- 二引文ヲヨゴ
- 二重勸サレ
- 二報謝ヲ秀

コトククタスケタマフヘシコヒサラニ
ウタカフコロウユホトモアルヘカラス
カヤウニ信スル機ヲ安心ヲヨク
決定セシメタル人トハイフナリコノ
コロラコソ經釋ノ明文ニハ一念發
起住正定聚トモ平生業成ノ行
人トモイフナリサレハ今阿彌陀佛ヲ
一念ニラカクタノミタテマツルコト
肝要ナリトコロウヘシコノホカニハ

一ノ義餘心ノ雜ヲサル
ナリ故ニ初一念モ無疑
ノ一心ナリ相續モマタ
無疑ノ一心ニシテ一念ノ
体ニ約スレハ同クコレ一
心ナリ若時尅ニ約スレ
ハ初テ信樂開發シテ
往生定ルノ極促ヲトル
ニハニ相續ニ通セス此

二釋ノ釋例ノ妙文句ニアレトモ今ハ論註散善義ノ意ニヨリテ發スルトコロ也善
見律十三ノ云狐疑者於所見聞ノ狐疑疑者二心也此一念發起ノ時即
往生ノ業事成辦ス故ニ口傳抄下ニ云真宗ノ肝要一念往生ヲモテ宗
ノ淵源ト云黒谷門下一念多念ノ諍アリ吾祖ハ證文ヲ淨土真宗ノナラ
ヒハ念佛往生ト申スナリマタク一念往生多念往生ト申スコトナレハルニ一念
往生便同弥勒トノタマフ如キコレ他流ヨリ吾祖ヲ一念義ナリトシル所以ナリ
蓋一念往生ハ往生治定ノ時尅ニ約ス多念ヲステサルハ相續ニ約スレカルニ



弥陀如来ノ口ヲラヤス夕タスケ
マシマス御恩ノフカキコトヲオモヒテ
行住坐臥ニツ子ニ念佛ヲマウス
ヘキモノナリアナカシコク

一念義ノ後ハ一念ヲモテ時尅トセス能歸ノ心念ヲトル又多念義ノ徒ハ
多念相續ノ上ニテ往生定ルト計ス今家ハ一念ハ往生治定ノ時ナレハ命延
レハ多念トナレ和語燈七ハ云オソク念佛ニアヒタラン人ハ命促リテ百念
ニモ十念ニモ及ハス一念也同十三云フカク弥陀ノ本願ヲ信シテ念佛スレハ
一聲ニ至ルマテ決定シテ往生ス今章初ニ經釋ノ明文ト標シナカラタ
釋文ノミヲ引テ經文ヲ引サルハ經ノ即得往生ヲ易行品ニウツレコノ經論ノ
意ヲトル註ノ釋ナレハ釋文即經意ニ違セス經ヲ釋ニ會スル也
○サレハタ、弥陀佛等 上ニ現生正定平生業成ノ信益ヲ述スルカ故此信益
ヲシルヲモテ信心トセンコトヲオソル故ニ此勸信ノ言アルカ此鑿ニ似タリト
雖當帖第六通ニ信益ヲ述オハリテコノホカニイロクノ法門トモ等ト勸信ノ文
アリカレニ例スルニマタ同意ナルヘシ

○コノホカニ 餘處ニハコノウヘニハトノタマフコノホカニトノタマフコト太希ナリ
私按ホカニウヘニ言相通シテ別ナレ當帖第六通ニコノホカニイロクノ法門
三帖第三通ニコノ外ニハワラハキ秘事同第四通ニコノホカニハ別ノ佛ヲモ
タノ同十通コノホカニハマタ後生ノタマテト同十三通ニコノウヘニハ後生ノタ
メニ何ヲシリテニ帖十通ニコノウヘニオイトナヲ身ノフルマヒ又コノホカニナラ

心ウヘキム子アリコレヲ類文ウヘトイヒホカト云テ通シタマフ御一代記云云
御文ノウニ法門アルヘキヤウニ思フ人アリ御文中ニ真宗ノ一念歸命平生
業成佛恩報謝等ノ法門ノハツクシタマヘリ御文中ニ法門ナレト云ニ非スコノ
ホカニイロクノ法門ト
モアリトタマフ何ソ
御文中ニ法門ナレト
云ヘケンヤ故ニ御文ノ
ウトハ御文ノホカニト云
如レウヘトホカト通ス
今コトサラニコノホカト
ノタマフハ前段ノ肝要
ナリトコロウヘレノ言
ニ對シテホカト云テ肝
要ノ義ヲ尤クシラセン
タメナリ

- 第三通分爲ニ
- 一安心ニ
 - 一正明ニ
 - 一勸信ニ
 - 一直接抑當
 - 二迷由ノ他
 - 二信相
 - 一微ノ他

抑當流勸化ノヲモキヲクシク
 シリテ極樂ニ往生セントオモハシトハ
 ツ他カノ信心トイフコトヲ存知スヘキ
 ナリツシ他カノ信心トイフハ十二ノ要ツ
 トイハカカルアサシキワレヲコトキノ
 凡夫ノ身カタヤスタ淨土ヘイルキ
 用意ナリツシ他カノ信心ノスカタト

第十四通ノ半ヨリ文言
 今一章ト同シ
 ①十一ノ要ニ帖第二
 通云何ノ用ソト云ニ
 要用音近キヲモテ通
 用ス或ハ要ハ要約ノ
 義トシ要入於路ノ要
 トスレハ用ト要トノ義相
 近シ

- 二釋ニ
- 一能歸信相
 - 一能歸信相

イフハイカナルコトソトイハハナニノ
 ヤウモナクタヒトスチニ阿彌陀如来
 フ一心一向ニタノミタテツリテタスケ
 タマヘトオモフコトノ念ヲコルトキ
 カナラス彌陀如来ノ攝取ノ光明ヲ
 ハナチテツ身ノ娑婆ニアラシホトハ
 フ光明ノナカニオサメヲキマシマスナリ

冠註印大 卷之五 請法錄

ナリ資糧ト云ニ同シ悲華經九ノ檀波羅密品ニ云用意即是助菩提法
 出ニ切法故助菩提トハ菩提資糧也
 六字ノスカタ即信心ノスカタ也ト示スコノ信心トイフ以下信心ノスカタ即名号

ノスカタナリト明シテ能歸ノ信心ニ結歸ス
今ノフルトコロノ他カノ信心ト云ナリ
彌陀佛ト稱ルコトハ等コト繁重九ニ似タリ有説ニ初ハ滅度ヲ喜フ上ニ
ヤスク往生スヘキコト
ト云コレ當益ニ約スル
カ故ニ後ハ住正定ヲ
喜フ即御タスケアリ
ツルアリカタサト云コレ
現益ニ約スルカ故ニ
今按現當ニ益ヲ分テ
報恩ヲ勸ルト云モ鑿
ニ近シ蓋初ハ佛恩ヲ
念シテ稱名スヘキコト
ヲ示シ後ハ佛恩ヲ念
セスレテフトトナノル
念佛モタ報恩ノ稱

二合名号義
二結嘆
二報謝
一徵
二釋

コトスナキワラカ往生ノサタマリ
タススカタナリサレハ南无阿弥陀佛
ノイハラアラハセルスカタナリトコロ
ウヘキナリサレハワラカイマノ他カ
ノ信心ヒトツラトルニヨリテ極樂ニ
ヤスク往生スヘキコトノサラニナニ
ウタカヒモナシアラ殊勝ノ弥陀如

名ナルコトヲ明ス船外
ニコレヲコロウヘキヤウ
ハカルアサマシキ罪障
ノ身ナレトモ一念弥陀
ヲタノムカ計ニテヤス
ク報土ニ往生スヘキコ
トノ身ニアアルアリカタ
サトフトサヨトロニイタ
レテイクタヒモ申スヘ
キコトナレトモタ、南无
阿弥陀佛ノト申セ
ハ即佛恩報盡ノ意
ニアヒアタレリトコロ
ウヘキモノナリ御一
代記云信ノ上六佛
恩ノ稱名退轉アル

二報謝ニ
一徵ヲアリ
二釋ニ
一報恩念佛
二信上念佛

来ノ本願ヤコノアリカタサノ弥陀
ノ御恩ヲハイカシテ報シタテツ
ルヘキツナハタ、子テモオキテモ
南无阿弥陀佛トトナヘテカノ
弥陀如来ノ佛恩ヲ報スヘキナリ
サレハ南无阿弥陀佛トトナルコト
ハイカンソナハ阿弥陀如来ノ御
タスケアリツルアリカタサタフトサヨ
オモヒテソレヲヨロコヒマウスコトナ

リトオモフヘキモノナリアチカシク

キコトナリ或ハコ、ロリ
 アリカタクタフトク存
 スルヲハ佛恩トオモヒ
 タ、念佛ノ申サレ候ヌ
 ソレホトニオモハサルコト大ナル誤ナリ、自念佛ノ申サレ候コソ佛ノ御催シ佛
 恩ノ称名ナレト仰事ニ候一次信ノウハタフトクオモヒテ申ス念佛モ又フト
 申ス念佛モ佛恩ニ備ルナリ、今此二類ヲ初ト後トニ分テ示シタマフカ帖外
 御一代記ニ照シテ可窺也初ニ佛恩ヲ念シテ称ル念佛ヲ出シ次ニサレハ
 南无阿弥陀佛トトナフルコト等々、念佛ノ申サレフト申ス念佛ノコ、ロラ
 述シテ同ク往生一定ノ後ナク佛恩報謝ノ念佛ナリトアラハシ玉フカ

明治廿九年六月十日印刷
 明治廿九年六月三日發行

版權
 所有

滋賀縣近江國高島郡
 海津村大字西濱
 著述者 堀江慶了
 京都市下京區下珠數屋町
 東洞院西入橋町八番戸
 發行兼印刷者 西村九郎右衛門

